

Random

RittorMusic

Vol.31

Take Free

行った人も
行けなかった人も



リットーミュージックの楽器

大
起

プ
レ
キ
ャ



the
NAMM
show¹⁴



2014年1月にロサンゼルスで
開催される世界最大級の楽器の見本市に

1名様

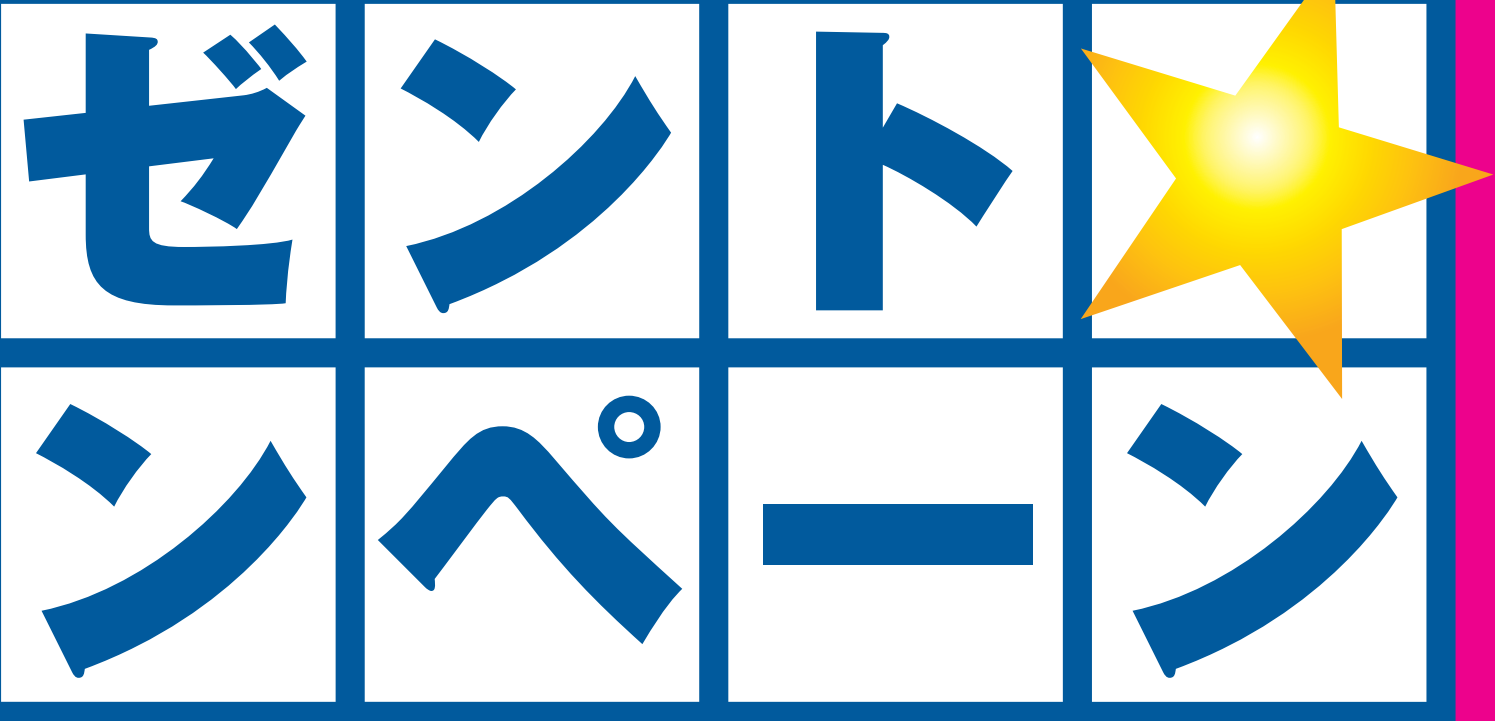
リットーミュージック
特派員としてご招待

応募締切

2013年12月2日(月)当日消印有効

応募方法は

教則本を買って当てよう!



日本最大級の
楽器検索サイトで
商品購入ご成約者様に

*1店舗で合計5万円以上お買い上げされた場合のみとなります。



補助金

50,000円

2名様



3名様

Apple
iPad mini
16GB

iPadは、Apple Inc.の商標です。



ギフトカード 20名様

3,000円分



リットーミュージック謹製
ツバメ五線譜ノート

200名様



2013 AUGUST/SEPTEMBER
RECOMMENDED PROGRAMS

MTV LIVE: FUJI ROCK FESTIVAL '13 -GREEN STAGE-

GREEN STAGE の LIVE を
3週に渡って MTV でオンエア!!

DAY1

9/15 日曜 20:00-

NINE INCH NAILS
BRAHMAN
MY BLOODY VALENTINE
FUN.
KEMURI
CJ RAMONE
ROUTE 17 Rock'n'Roll
ORCHESTRA

(feat. 神井戸 "CHABO" 麗市, 大江慎也, 甲本ヒロト, トータス松本)

DAY2

9/22 日曜 20:00-

BJORK
KARL HYDE
FOALS
奥田民生
AIMEE MANN
THE BAWDIES

DAY3

9/29 日曜 20:00-

THE CURE
VAMPIRE WEEKEND
MUMFORD & SONS
加藤登紀子 & THEATRE BROOK - 半世紀ロック
WILKO JOHNSON
YO LA TENGO
THE GOLDEN WET FINGERS

※出演アーティストは変更になる場合があります。

8/31 土曜

18:30-19:00 他 オンエア

会場で開催した公開収録の様をお届け!

-Live@GAN-BAN SQUARE-

アコースティックパフォーマンス
インタビュー等まとめてオンエア!!

視聴方法

スカパー!

スカパー!

カスタマーセンター: 0570-039-888
P/S・IP電話から: 03-4334-7777 (受付時間 10:00-20:00 年中無休)
OFFICIAL SITE: www.skyperfectv.co.jp

ケーブルテレビ

CATV

お近くのケーブルテレビ局、または
MTV HOTLINE 03-6361-1149

Official Social Media



facebook.com/mtvjapan



LINE
@mtvjapan



twitter.com/mtv_japan

お問い合わせ

MTV HOTLINE



WEB
mtvjapan.com/hotline



TEL (平日 10:00-18:00 土日祝無休)
03-6361-1149

©2013 MTV Networks

event

日本を代表する四国最大級の夏フェス MONSTER baSHの“龍”を体感せよ!!



▲写真上：空海(右)と龍神(左)を一望できる小高い丘から。初日はあいにくの天気だったが、会場の熱気は異常なほどで、オーディエンスの身体から蒸発した汗が空に昇って行く様も随所に見られた。／写真下：フェスの楽しみの1つ、それはフェス飯！中でもやはり一番人気はソウルフード「讃岐うどん」。地元の人、県外からの来場者も、やはりうどんを食べなければ「モンバス」は語れない！しかもフェス飯にあるまじき、神プレイス！うどん県最高～～～!!



▲モンバス入場ゲートをくぐると、竜のシンボル(植木)がお出迎え。満濃池に伝わる竜神伝説に起因する竜のキャラクター、その名も「ドラ夢くん」。パラソルを立てられるエリアがあるのも、モンバスの特徴だ。

通称「モンバス」と呼ばれる四国最大級の夏フェス『MONSTER baSH』。邦楽アーティストを中心に毎年尋常でない盛り上がりを見せることで知られるこのフェスの初日をRandomMが初レポート。

モンバス最大の特徴は、隣り合わせになった2つの特大ステージ「空海」と「龍神」にアーティストが交互に出演するため、来場客は大きく移動することなく2日間で約40組近いライブをじっくり観覧できることにある。今年も8月24日&25日、4万人を超えるオーディエンスが国営讃岐まんのう公園(香川県)で珠玉の音楽に酔いしれた。

何の前触れもなくラフな状態で龍神に現れた宮沢和史&TRICERATOPS。インプロのようなかたちでおもむろに始まったセッションが、いつしか耳なじみのあるコード展開になったと思いきや、名曲「風になりたい」がスタート。観客ものっけから大熱唱だ。

その流れを汲んで、隣の空海にONE OK ROCKが登場。会場はあいにくの激しい雨。雨音が入り交じる環境にもかかわらず、各パートが輪郭のくっきりしたサウンドで攻め立てる。調和しないという意味では無く、個々の楽器の音ツブが際立って耳に飛び込

んでくる抜群の演奏力と至高のステージングに驚嘆。会場は早くもこの日一番の熱狂に包まれた。

ONE OK ROCKで興奮の頂点に達したオーディエンスをさらにRIP SLYMEが煽りまくれば、今度はNothing's Carved In Stoneがストレートなロックで応酬。一方、時を同じくして別会場にあるステージ「茶堂」では、人気急上昇中のユニット→Pia-no-jac←が雨を吹き飛ばす白熱のパフォーマンス。

そして夕方の空海に登場したのはDragon Ash。雨に体力を奪われ、少しだけ大人になった観客に対しKjが「いつ何が起ころかわかんねーんだぞ。俺らもお前らも、また来年必ずモンバスに来られるって保証はねーんだ。俺たちはいつだって死ぬ気で演るから、お前らも温存しないで全力で付いてこいよ」と叫ぶ。昨年ベーシストIKUZONEを失った同バンドだけに、Kjの叫びが心に深く突き刺さる。その言葉に応えるようにサポート・ベーシストのKenKenの骨太な重低音がうねりまくり、ドラマー桜井と鉄壁のリズム&グルーヴを構築。

SPITZが「ハチミツ」や「チェリー」といった名曲群で貫禄の「和み」を演出すれば、今度は平井堅が美

声を空高く突き上げ、さらなる潤いを大地に与える。

完全に日が沈んだ頃、9mm Parabellum Bulletが爆発力のある圧倒的パフォーマンスで最後のバンドthe HIATUSにタスキをつなぐ。「汚染水流出問題、TPP問題に揺れるこの国の将来を憂うだけじゃなく、未来の子供達に美しいものを残していこう」と細美武士が心からの熱いメッセージを夜空に叫びつつ、安定感のあるバンド・サウンドで会場全体を一体にし、初日のモンバスは幕を閉じた。



▲夜の空海は曇とはひと味違う荘厳な雰囲気包まれる。まさに神龍が出て来そう……いや出た気がする！

SMASH go round

FUJI ROCK FESTIVAL'13[®]



Photo : RandoM



BRAHMAN

Photo : Yasuyuki Kasagi

Text: Ryoko Tsuchiya (RandoM)

今年で 17 回目を迎えたフジロックフェスティバル' 13 が、苗場スキー場を会場に 7 月 26 日～28 日の日程を終えた。今年は延べ 11 万人が来場し、前年の全日晴天を覆しての“通常運行”、雨天の 3 日間となり総勢 200 組以上の熱いステージが繰り広げられた。

レッドマーキーに現れたのは、淡い色のジャケットを着たロン・セクスミス。オーディエンスが口々に「ロンさま!」と声をかける。曲がはじまるなり、静かで涼しい風が吹くようなロンの歌声が響き渡った。夜時間帯にしっかりと聴くのもいいが、昼間でもレッドマーキーの屋根の下、ひと時暑さを忘れさせてくれた。ロンはその後、オアシス内 GAN-BAN のイベント・スペースに場所を移して、アコースティック・ギター・マガジンによるトークショーとサイン会も実施。熱心なファンとの会話を楽しむなど終始和やかな時間を過ごしていた。

グリーンステージ後方に「mbv」の文字が掲げられた。マイブラは 1 曲目から間断なく続く轟音を繰り出す。向こうの空からムクムクと近づき白く白く。不穏な空気が漂い始めた。メンバーが全員ギターを弾いた「Wonder 2」から音が増幅して固まりのように迫り、そこに投げ入れられた私たちをどんどん取り囲んでいく。最後の「You



RON SEXSMITH

Photo : RandoM

マイブラが雨を呼び お祭野郎はドラゴンに乗る

Made Me Realise」が終わるなり、ポツポツと来ていた雨が堰を切ったように本格的に降り始めたのも印象的だった。

そして今回も BRAHMAN は伝説的なステージを観せてくれた。MC で笑わせてくれたつと、ひとたびライブが始まれば、気を抜いては置いていかれてしまうほどの熱量。それに応じてヒートアップした観客がモッシュやダイブを繰り返す。「PLACEBO」で観られたのは、観客に飛び込んだ TOSHI-LOW がそのまま人々に支えられて歌い続ける、という御馴染みの姿。その光景はどんな言葉よりも雄弁に、彼らがファンの心を掴み続けているのかを物語っていた。

夜のホワイトステージ、舞台上に鎮座したまるでアニメに出てくるロボットのような巨大な物体は、バルセロナで開催された Sonar2013 出演時にも登場した彼の愛機“ドラゴン”だ。

突如始まるカウントダウン。SE が「My Name Is Skrillex」と繰り返す。大合唱とともにカウントが 0 になった瞬間、爆発音とともにドラゴンのコックピットにスクリレックスが登場した。同時にホワイトステージがダンス・ミュージックにブチ上がる。すると、なんと“ドラゴン”のツノが開き 3 対になった。かと思うと機体が徐々に上昇し始め、ステージから 6～7m はあろうかという高さに進化したのだ! 男の子の夢の塊みたいなマシンに乗って楽しそうに観客を躍らせるスクリレックスさん(思わずさん付け)、これにはもうカッコいいやらあきれるやらで、笑うしかない。最後にはイギリス国旗と日本国旗を持ち、力いっぱい客席に向かって振りまくりながらステージを去っていった。楽しませていただきました。はんばないです。スクリレックスさん。



SKRILLEX

Photo : Masanori Naruse



björk
Photo : Kenji Kubo





2 日目は昼間から雨模様。前夜祭のステージに突如現れた、踊り狂う花柄ワンピースの女性は、SKINNEY LISTER のボーカル、ローナ・トーマスだ。フォーキーでありながらタイトで高揚感を誘う演奏とあいまって、心をはっきりつかまれた人も多かったのでは？ 今回イギリスから初来日を果たした彼らはフジロックのステージだけで3 度姿を現したが、筆者もご他聞に漏れず一目惚れ。再び彼らに会いに FIELD OF HEAVEN へ行った。演奏されたのは長くイギリスの庶民に歌われてきたトラッド・ソングたちだが、日本でもそのままの純度で受け入れられ、大合唱になる。お祭りが楽しいのは、どこでも一緒なのだ。

次はレッドマーキーへ、こちらも今年初登場となる LAMA (ラマ)。だが、その確固たる人気ぶりは会場からあふれる観客の数でうかがい知れる。フルカワミキと中村弘二が元スーパーカー、田淵ひさ子は元ナンバーガール、そして牛尾憲輔 (agraph) は電気グルーヴのサポート・メンバーという、技術もセンスも併せ持った強力布陣だ。暑さにうだる会場に、フルカワミキとナカコーのボーカルが、蜃気楼のようにふわりと広がる。そうそう、この感じを味わいに来たんだ……じわじ

新旧の名曲で魅せたビョークの内なる宇宙

わと実感する。ハイライトはラスト前、まばゆい光の中で演奏された「Seven Swell」。サビが歌われると、観客のデモンションは最高潮に達し、人の流れが激しい波を作る。その高揚のまま、ラストの「Dreamin」がプレイされ、メンバーが去ってもしばらく歓声と拍手が鳴り響いていた。

爆撃されたみたいな感動、と言ったらいいのか。美しさ、壮さ、激しさ、それが音とビジュアルで迫ってきた。すばらしいステージを観た。ビョークは小さな風船で形づくられた「DNA パルーンドレス」を身にまとい、アイスランドから女声コーラス隊「グラデュアレ・ノビリ」を率いて現れた。1 曲目は新作『Biophilia』から「Cosmogony」、2 曲目の「Hunter」をはさんで、再び Biophilia からの曲が演奏される。「hidden place」などが演奏されると、観客から歓声があがった。ビョークを長年愛する人、特に 20 代後半のファンにとっては、2000 年前後のビョークの楽曲は当時ティーンエイジャーだった自身の人生に鮮烈な影響を与えていると思う。「hyperballad」のイントロで湧き上がった喜びの声は、それを表していた。さらに「Joga」で、アイスランドを思わせる風景が胎動するミュージック・ビデオがスクリーンに流された瞬間、声にならない感動がグリーンステージを支配した。ステージ・パフォーマンスも圧巻だ。「Thunderbolt」では特注の巨大な「シンギング・特斯拉コイル」が現れてベース・ラインを奏でたり、グラデュアレ・ノビリはアンコールで、ただただ美しく「Oskasteinar」を歌い上げたり。その中で、「アリガト！」と叫ぶビョークのかわいらしい一面が、曲ごとに別世界に迷いこんだ心をやさしく元に戻してくれているような気にもなる。メンバー紹介の最後に「From Japan」と言って観客に向き合った姿にも、それを感じた。



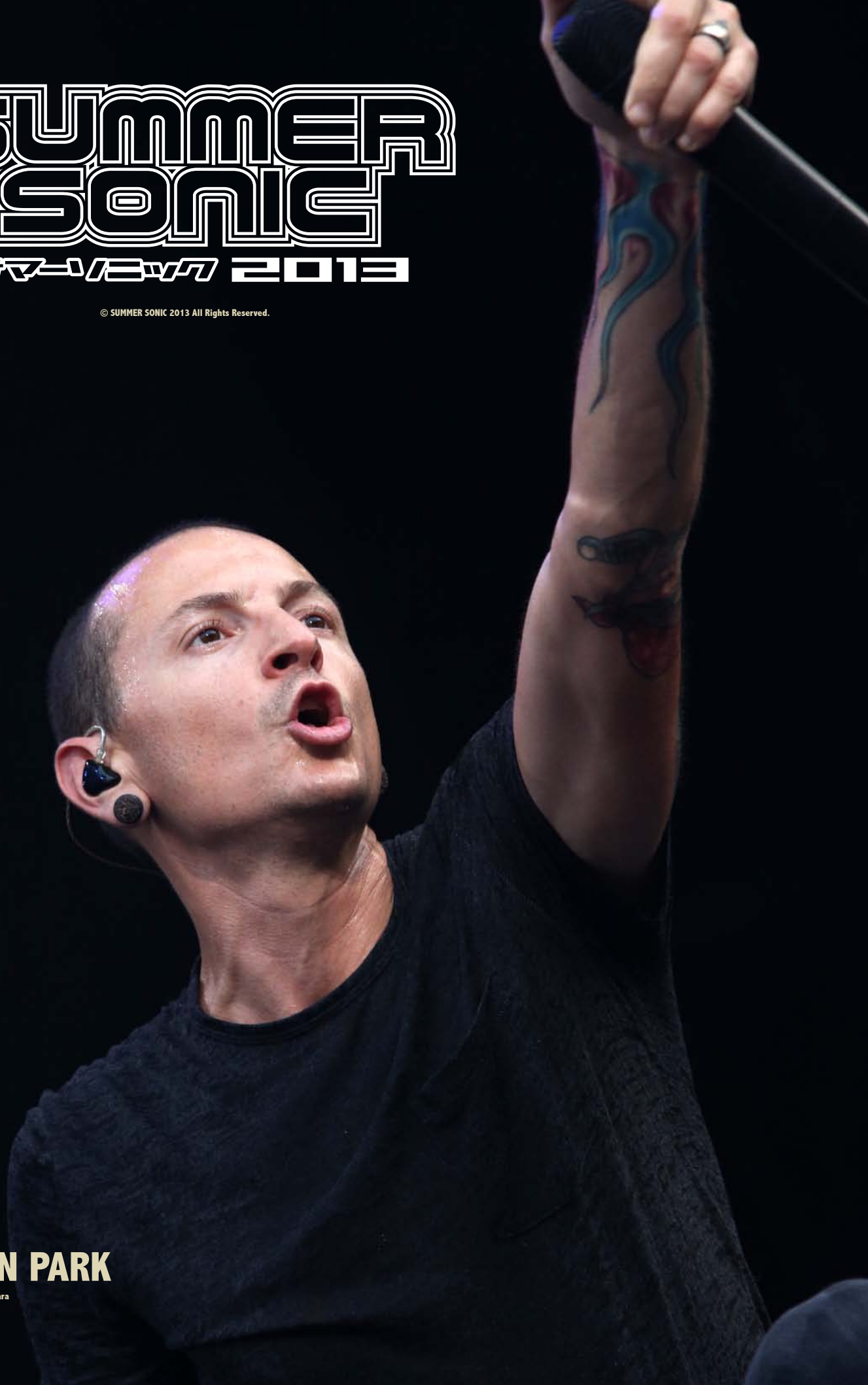
Photo : RandoM



SUMMER SONIC

ライブ 2013

© SUMMER SONIC 2013 All Rights Reserved.



LINKIN PARK

Photo : Riei Nakagawara



MUSE

Photo : Riei Nakagawara

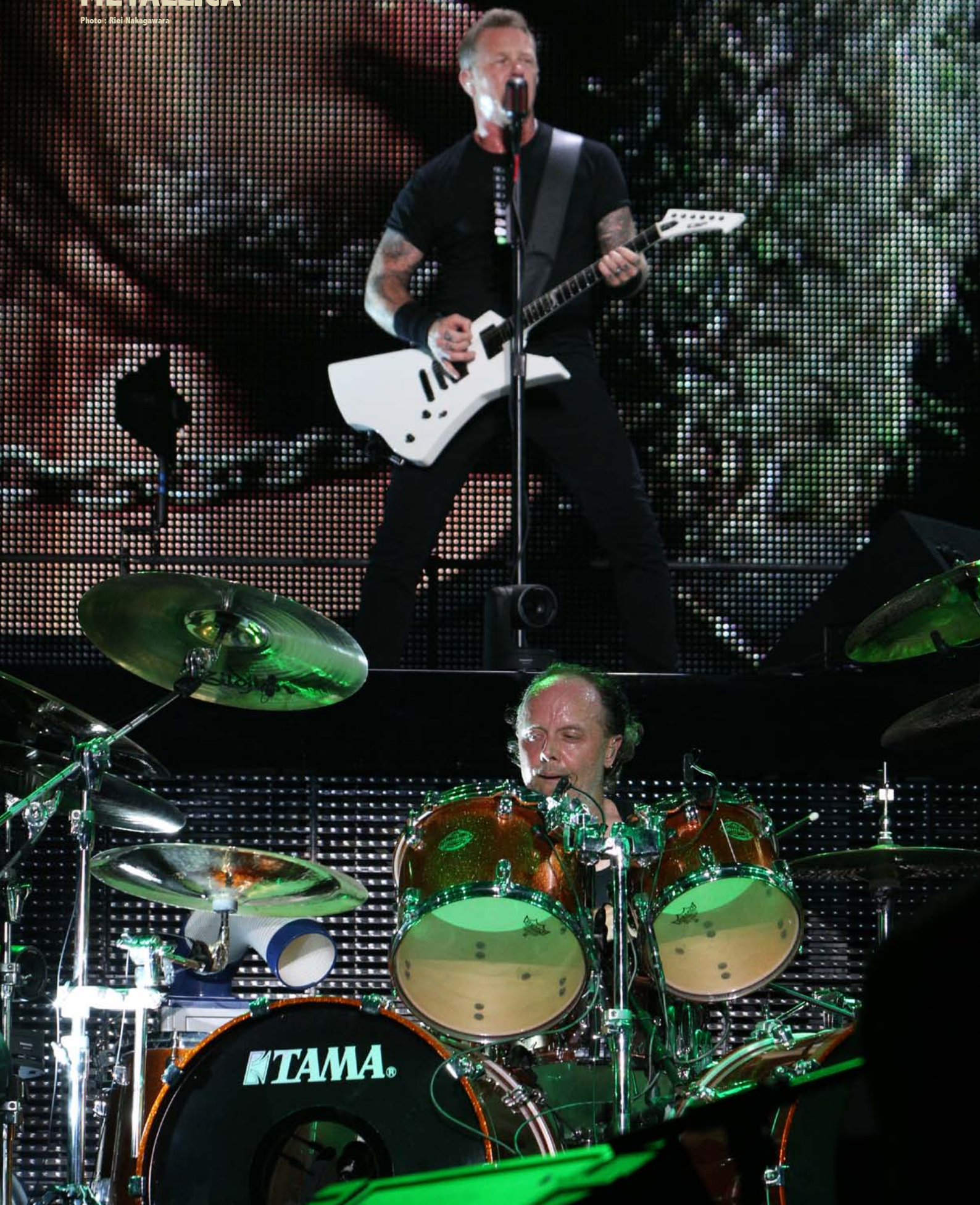


Mr.Children

Photo : OSAMI YABUTA (FEMME)

METALLICA

Photo: Riei Nakagawara



BABYMETAL

Photo : Hiroki Nishioka



灼熱の幕張&舞洲をさらにヒートアップさせた狂熱のパフォーマンス

Text: Daisuke Matsumoto (Random)

「灼熱」という言葉がこんなに相応しいフェスもなかなかないだろう。それくらいに今年のサマソニは暑かった。呼吸するだけで、鼻も喉も焼けてしまうかのような猛暑……動いても、動かなくても、全身から汗が噴き出てくる、そんな環境の中での爆音祭となった。その爆音の核を担ったバンドを中心に当日の様をお伝えしよう。

2日間を通じて、最もアツく、激しくオーディエンスを熱狂の渦に巻き込んだバンドの1つ、それはLINKIN PARKだろう。東日本大震災の直後から日本支援を早々に表明し、さまざまな慈善活動やチャリティ・ソングの発表、そして実際に被災地（石巻）を訪問したりと、親日家でもある彼らがさらに日本を鼓舞すべく、幕張／舞洲で雄叫びを上げた。LINKIN PARK と言えば、チェスター・マイクのツートップにどうしても目が行きがちだが、実はバンド・アンサンブルの妙が売りでもある彼らは、まさにライブ・パフォーマンスでこそ本領を発揮する。極太のビートを繰り出すリズム隊、エッジなカッティング・ギターに巧みなスクラッチ、そのすべてが絶妙に融合し紡ぎ出される一体感のあるバンド・サウンドが圧倒的なスケール感で日本を包みこんだ。

そしてLINKIN PARKと同様、7年ぶりにサマソニのステージに登場したメタル界の覇者、メタリカ。「バッテリー」、「クリーピング・デス」、

「ONE」、「シーク&デストロイ」等、往年のヒット・ソングをふんだんに盛り込んだセット・リスト、それだけで感涙ものではあるが、やはり彼らも無類のライブ・バンド、まさにリアル場で強烈な個性を見せつけながらオーディエンスを圧倒しまくる。ベースのロバート・トゥルージロに至っては、今年はメタリカに加入して10年目という節目でもあるが、そのロバートとラースとのコンビネーションが揺るぎない鋼鉄の音塊となって、会場全体を揺らしまくっていた。

一方、英国を代表するロック界の雄、MUSEのステージもアツかった。思えばMUSEは記念すべきサマソニの第1回（2000年）に出演を果たしている数少ないバンドなわけだが、世界レベルのモンスター・バンドとして帰ってきた。来年はバンド結成10周年となる彼らの、新たな決意が垣間見えるかのような充実のステージであった。

14年目を迎えるサマソニの歴史の中で、今年のMr.Childrenの参戦は、間違いなく大きなトピックとして語り継がれていこう。「Mr.Childrenがサマソニ2013に出演決定」のニュースが流れた直後、あっという間にチケットが完売した事実で改めて彼らの人気ぶりを再確認したわけだが、音楽というもののほほすべてを受け容れるサマソニックというフェスティバルの在り方も本当に素晴らしいと実感。実際のステー

ジは、1曲目の「名もなき詩」からいきなりトップギアに入ったかのような桜井和寿の熱唱ぶり、そしてそれに呼応するオーディエンス。そのまま最後の「innocent world」に至るまで、普段の公演とはまた違った類の渾身のパフォーマンスであった。残念ながら機材トラブルに見舞われてしまった瞬間があったものの、それを逆に楽しんでもう彼らの余裕っぷりも、文字通り日本を代表する国民的ロック・バンドとしての「風格」を感じさせた。

そして、サマソニといえば数々の実験的とも思えるブッキングで常に成功を導き出してきていることも忘れてはならない。Perfume やもいろいろクローバーZ、韓流系もまたしかり。そして、BABYMETALである。昨年はサイドショー扱いでの出演だったBABYMETAL、今年は10倍返しの勢いでレインボーステージの群衆のド肝を抜いた。そもそも今年のBABYMETALに密かに注目していたメタル・ファンも多かったように思う。それを証明するかのように、スタートと同時に超満員のオーディエンスがさらに前へ前へとせめぎ合う様子は、まさしくメタルのライブそのもの。実力派の「神バンド」を従えての全力パフォーマンスは、本番に強いと評される彼女たちのポテンシャルが100%以上に発揮された圧巻のステージであった。

マイルス・デイビス/ラバー・マウスピース/SOIL&"PIMP"SESSIONS/スカパラ

volume
28
2013
AUTUMN

SAX&BRASS

magazine

季刊2、5、8、11月の28日発売 定価1500円+tax [サックス&ブラス・マガジンVol.28]
Ritter Music Mook
<http://rdm.ne.jp/saxbrass/>

CD

誌面に対応した
音源を収録!

マイルス・デイビス MILES DAVIS

25人のトランペッターが語る
マイルスの魅力

インタビュー

日野皓正 ウォレス・ルーニー
デイヴ・リーブマン
ケニー・ギャレットほか

偉人の肖像
グローバー・
ワシントンJr.

ラバー・マウスピースの
新トレンドが分かる!

サックス・
マウスピース
大研究

[ラバー編]

巻頭インタビュー

SOIL&"PIMP" SESSIONS

10年の軌跡が生んだ
金曲コラボ作『CIRCLES』

新連載

スタンダード・ジャズを
吹きこなそう!

課題曲「煙が目にしみる」
演奏&講師: 大山日出男、浜崎航

フラッシュ金子の
実践ホーン・アレンジ講座
ビッグ・ホーンズビーの新曲
「EMBALAYA〜勇者のテーマ〜」を収録!

小池修のステップ・アップ塾
替え指で、フラジオ音域の表現力をUP!

前田大輔のトロンボーン初級講座
正確な音程を習得するためのスライド練習フレーズ集

ビッグバンド・ファイルズ特別編

インタビュー

サミー・ネスティコ

島裕介が語る
デュオ演奏の真髄

J-Line Jazz Orchestraが伝授
自宅でもできる! 音を出さない練習方法

バンド・
スコア

「SHAKE EVERYTHING
YOU'VE GOT」

ファイヤー・ホーンズVer. (メイシオ・パーカー)

東京スカパラダイス
オーケストラ直伝!

最新アルバムで学ぶアドリブ・ソロ



vol.27

巻頭

キャンディ・ダルファー

キャンディが惚れ込んだ
新ブランド・サクスを紹介!

アーティスト

ウェイン・ショーター
土岐英史(チキンシャック)
コバヤシケン(KEMURI)
JABBERLOOP
在日ファンク
巽朗

ビッグバンドファイル

ウディ・ハーマン・オーケストラ

スコア

「Rockit」ハービー・ハンコック
(ファイヤーホーンズVer.)



vol.26

巻頭

カウント・ベイシー・オーケストラ

アーティスト

ビッグ・ジェイ・マクニリー
元崎×タブゾンビ(SOIL&"PIMP"BIG BAND)
房原忠弘×宮崎隆雄(Tri Horn Buffalo)
織田浩司(COLORS)×田中靖人
ローリー・フリック(マリア・
シュナイダー・オーケストラ)×高澤綾
エリック・ドルフィー

ビッグバンドファイル

ケニー・クラーク&フランシー・ボラン・ビッグバンド

スコア

「Squadlive」Lettuce(ファイヤーホーンズVer.)



vol.25

巻頭

PE'Z

アーティスト

ブラッド・スウェット&ティアーズ
J.J.ジョンソン
矢野沙織

ビッグバンドファイル

マリア・シュナイダー・オーケストラ

スコア

「OUR BUNGALOW OF DREAMS」PE'Z
「SPINNING WHEEL」
ブラッド・スウェット&ティアーズ
「TUTU」マイルス・デイビス
(ファイヤーホーンズVer.)



vol.24

巻頭

ビッグ・ホーンズビー

アーティスト

ビル・チェイス
スタン・ケッツ

インタビュ

野々田万照、額部歩美

ビッグバンドファイル

サド・ジョーンズ=メル・ルイス・ジャズ・オーケストラ

スコア

「OPEN UP WIDE」チェイス
「CANTALOUPE ISLAND」
ハービー・ハンコック(ファイヤーホーンズVer.)



vol.23

巻頭

東京スカパラダイスオーケストラ

アーティスト

ギル・エヴァンス&
マンディ・ナイト・オーケストラ

インタビュ

ビー・ウィー・エリス
小池修×村田陽一
ルイ・アームストロング

ビッグバンドファイル

ベニー・グッドマン・ビッグバンド

スコア

「WALKIN'」東京スカパラダイスオーケストラ
「RUN FOR COVER」デヴィッド・サンボーン
(ファイヤーホーンズVer.)



vol.22

巻頭

アース・ウィンド&ファイアー feat.フェニックス・ホーンズ

アーティスト

ポール・デズモンド、勝田一樹(DIMENSION)、
藤井尚之&The TRAVELLERS

インタビュ

野々田万照、額部歩美

ビッグバンドファイル

パディ・リッチ・ビッグバンド

スコア

「石の刻印」(イン・ザ・ストーン) EW&F
「My One and Only Love」
勝田一樹(DIMENSION)
「Night Train」藤井尚之&The TRAVELLERS
「Chameleon」ハービー・ハンコック



vol.21

巻頭

ジェームズ・ブラウン&JB's feat.フレッド・ウェズリー&メイシオ・バーカー

アーティスト

渡辺貞夫
SOIL&"PIMP"SESSIONS
フレディ・ハバード

ビッグバンドファイル

デューク・エリントン・オーケストラ

スコア

「Hung Up Your Hang Ups」
ハービー・ハンコック(ファイヤーホーンズVer.)
「JUNK」SOIL&"PIMP"SESSIONS



vol.20

巻頭

タワー・オブ・パワー

アーティスト

キャノンボール・アダレイ

ビッグバンドファイル

カウント・ベイシー・オーケストラ

スコア

「Only So Much Oil In The Ground」
タワー・オブ・パワー
「ビック・アップ・ザ・ピース」
アヴェレージ・ホワイト・バンド(ファイヤーホーンズVer.)



ビッグバンド・ファイルズ

RandoM特別篇

5分でわかる

デューク・エリントン・オーケストラ

歴代のビッグバンドを1組ずつ掘り下げるサックス&プラス・マガジンの人気連載「ビッグバンド・ファイルズ」。今回はそのバック・ナンバーの中から、デューク・エリントン・オーケストラの足跡をご紹介します。

文=桜木英 イラスト=岡安英樹

「A列車で行こう」「サテンドール」「キャラヴァン」「スウィングしなけりゃ意味がない」……etc.. デューク・エリントン(p)が生み出した名曲の数々は、その多くがスタンダード・ナンバーとしていまなおリスナー、プレイヤー、そしてボーカリストから愛されています。

しかし、楽曲の魅力は多くの人に認められておりながらも、日本では“ビッグバンド”としての魅力が語られる機会がまだまだ少ないように感じます。そこで今回は、ジャズの歴史を大きく変えたアーティストのひとりであり、同時にコンポーザー、アレンジャー、バンド・リーダーとして活躍したデューク・エリントンが率いた、ビッグバンドの魅力に迫ることにしましょう。

学生時代のあだ名は“デューク”

デューク・エリントン(本名=エドワード・ケネディ・エリントン)は、1899年生まれ。父が医師の執事をしていたこともあり、時代背景を考えると比較的裕福な家庭に育ちました。幼少のころから芸術に興味を示し、ピアノはもちろ

ん、絵画の才能もあり、また陸上競技や野球にも熱心な少年だったといえます。ハイスクールに進学するころには、校内で開催されるパーティなどでピアノの腕前を披露しはじめ、その優雅な身のこなしから、つけられたのが“デューク”(公爵)というニックネーム。その他にもヘッド・ノッカー(頭を小突く人)、プディング、マエストロなど、いろいろなあだ名で呼ばれていたようです。

地元のピアノ奏者オリヴァー・ドック・ベリーなどに師事した後、17歳でプロ・デビューすると、20代後半には自身のバンドでニューヨークのハーレムにある高級クラブ“コットン・クラブ”と契約。当時はワシントンアンズと呼ばれる6人編成のバンドでしたが、やがてテンテット(十重奏)、デュオデケット(十二重奏)と人数を増やし、時代の流れに乗って“デューク・エリントン・オーケストラ”はシーンの只中へと乗り出していきました。これら1930年前後のバンドは“ジャングル・サウンド”と呼ばれるバンド・カラーを色濃くするもの。プランジャーやミュートをを用いた“ワーワー奏法”、唸るような音のする“グロウル”などの響きを多用し、野性的なサウンドを奏でていました。「キャラヴァン」などの楽曲がこのころから既に演

奏されていることから、彼のサウンドの核となるものがいかに普遍的なものがわかるでしょう。

「A列車で行こう」の大ヒット

1939年前後には、後にデュークの片腕として数々の名曲を生み出すことになるバリー・ストレイホーン(p)がバンドの作・編曲に携わり始めます。そして同年に彼とエリントンの共作による「A列車で行こう」が大ヒット。一躍人気バンドとなったデューク・エリントン・オーケストラは、ベン・ウェブスター (ts)、ジミー・ブラントン(b)といったスター・プレイヤーを多く擁しながら徐々に18人編成のビッグバンドへと発展。「パーディッド」「コットンテイル」といった代表作を次々と生み出し、黄金時代を形成していきました。

全米で評判を呼び、オーケストラは多くのコンサートで演奏していましたが、中でも1940年にノースダコタ州のファーゴ・クリスタル・ボールルームで行なったコンサートは、その後『ファーゴ・コンサート』としてアルバム化。会場に来ていたファンが録音したもので音質こそあまり良くはな

いものの、当時の熱狂的な雰囲気伝える貴重な音源として現代に語り継がれています。やがて第二次世界大戦と前後し、全米を不況の影が覆います。エンタテインメント界にもその影響は色濃く表われ、ビッグバンドの経営も例外なく困難を極めました。エリントンもそれをものともせずバンドを継続。世界中のファンの声に応えました。

1956年にはジャズ・フェスティバルの草分け的存在として知られる『ニューポート・ジャズ・フェスティバル』に出演。バンドのメイン・ソリスト、ポール・ゴンザルヴェス(sax)が「ディメンズ・アンド・クレッシェンド・イン・ブルー」で27コーラスのサクソ・ソロを吹き上げたことは有名ですが、実はこのときゴンザルヴェスは間違えてソロ・マイクではなく、ラジオ収録用の放送マイクに向かってソロを吹いてしまっていました。当時リリースされたLPには、ゴンザルヴェスのソロが遠くで鳴っているように収録されていましたが、その後放送用の録音が見つかったため、ミックスして再リリース。現在ではその狂的なソロ、そしてそれに煽られたかのようにヒートアップしていくバンド・サウンドの全貌を聴くことができます。

secrets of sound エリントン・サウンドの秘密

Eリントンのサウンドの特徴として、クラリネットを上手に使ったハーモニーが挙げられます(多くの場合、3rdアルトのラッセル・プロコップ、バリトンのハリー・カーネイが持ち替えて吹いています)。しかし必ずしも、クラリネットがメロディを奏でているわけではありません。時にはバリトン・サクソがメロディを担当し、クラリネットはオクターブと半音上で重なっているということもあるのですから、エリントンはソロ楽器としてのクラリネットを欲していたというよりは、サクソスのハーモニーに彩りを加える、スパイスのような響きが欲しかったのかもしれません。

また、冒頭に書いた日本でエリントンのアレンジを取り上げるバンドがあまり多くないひとつの原因として、ジャズのイデオロムだけに頼らない抽象的なフレーズを多く用いたことが挙げられるのではないかと推察します。例えば、『極東組曲』に「DEPK」(どのように発音するかは不明)という曲があります。サクソ・セクションによるこの曲のテーマは、8分音符主体なのですが、ひとつひとつを聴くととてもメロディには聴こえません。まるでスケール練習のようにロジカルで、しかもハーモニーは不協和音のような構成になっています。しかし、複雑なラインを追っていくとそれぞれに意味があり、やがてすべてがBメロへの解放感や、エンディングの収束へとつながっていきます。このように彼の楽曲は、特に晩年になるほど、ジャズの楽曲というよりは現代アートに近い部分が散見されるようになりました。エリントンはジャズを大衆音楽から鑑賞に耐えうる芸術、そしてそのさらに先にある何かへと導こうとしたとも言えるでしょう。しかし、そのためにエンタテインメントとして

楽しむことを目的を主としたアマチュア・バンドからは敬遠されるのではないのでしょうか。これらエリントン・ミュージックの特徴を一曲に詰め込んだのが「ロッキン・イン・リズム」。気持ちの良いファスト・スウィングとして聴いてしまいがちですが、メロディの音列は奇抜、ソロのバックিংは複雑なハーモニーでトリッキー、ブランチャーを使ったトロンボーン、トランペットのソリ、とどめにキャット・アンダーソンのハイノートが炸裂するなど、デューク・エリントン・ミュージックの魅力をストレートに味わえる内容になっています。そして驚くべきことに、この曲のモチーフは1929年から既に演奏されていたのです。

1950's 絶えることなき創造力

その後、1958年に発表された『ブラック・ブrawn・ベージュ』は、人種の違いによる肌の色からつけられたタイトル。黒人が奴隷としてアメリカにつれてこられ、神へ祈り、そして音楽によってカタルシスを解放するさまを描いた壮大な組曲です(初演は1943年)。この他にも、イギリスのエリザベス女王に捧げた「女王組曲」や、アジア諸国を訪問した際にその情景から想起したという「極東組曲」、そのほか「ニューオリンズ組曲」「木曜組曲」「ラテン・アメリカ組曲」など、1960年代のエリントンは多くの組曲を発表しています。1965年には、エリントンの考える宗教音楽を教会で演奏するという名目の“セイクリッド・

コンサート”がサンフランシスコで開催。前述した黒人の歴史と宗教観を結び、それを音楽にするというエリントンの手法は各方面から絶賛されました。

その翌年には打って変わって現在も愛聴される名作『ポピュラー・エリントン』を発表。この年はビートルズの来日に代表されるように、ミュージック・シーンはロックの全盛でしたが、それにも負けずエリントンは世界中をツアーしていました。そんな中、1967年にバンドのブレインだったリリー・ストレイホーンが逝去。1970年にはバンドのサウンドを支え続けたジョニー・ホッジスも失い、エリントンは失意に暮れ、以降はリリースも影を潜めます。ジャズだけではなく、音楽界全体に計り知れないほどの影響を及ぼした巨人も病には抗えず、1974年には癌と肺炎のため、86歳で逝去。前年に自叙伝『ミュージック・イズ・マイ・ミストレス』を出版したばかりでした。

彼の書いた手書きのスコアは、死後、アメリカのスミソニアン博物館に収蔵されていて、孫のマーサ・エリントンでさえ現物を手にできないと言います。現在はエリントン研究家として有名なデイヴィッド・バーガーなどが採譜したスコアが幾つか出版されていますが、片やエリントンが生前に残した楽曲は2千曲以上とも言われていますから、氷山の一角しか世に出ていないということが分かるでしょう。これらが一般に公開されるのはいつのことなのか、また、それらの譜面はどのような輝きを放っているのか。その時まで楽しみに待ちたいものです。



Duke
Ellington

バンドを彩るスター・プレイヤーたち

Featuring the star players

エリントン楽団のリード・アルトと言えばこの人

Johnny Hodges (sax) ジョニー・ホッジス

その印象的な甘い音色と、たっぷりとしたリズム、圧倒的な存在感で、ソリストとして、またリード・アルトとしてバンドのサウンドを牽引し続けたのがジョニー・ホッジス。時に鼻歌のように軽く歌い、時に濃厚に歌い上げるそのプレイは、リスナーのみならず、同年代の多くのプレイヤーに影響を与えました。もちろん、現代においても多くのプレイヤーからリスペクトを集めています。

エリントンも彼のプレイに心酔しており、「イスファハン」「ソフィスティケイテッド・レディ」をはじめ、数多くのフィーチャー曲を担当させています。

1970年、『ニューオリンズ組曲』のレコーディング直前にホッジスの逝去を知らされたエリントンは、「我々のバンドは、将来二度と同じような音を出せないだろう」と書き記したほど、彼に全幅の信頼を置いていました。



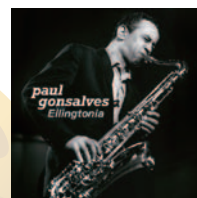
『Blue Hodge』

絶大な信頼を寄せられていた敏腕サックス奏者

Paul Gonsalves (sax) ポール・ゴンザルヴェス

長年デューク・エリントン・バンドのソリストとして、多くの楽曲でフィーチャーされてきたポール・ゴンザルヴェスですが、そのサックス・プレイはきわめて特徴的で、他に類するものがありません。キャリアの初期にはベン・ウェブスターの影響を色濃く残していましたが、年を追うごとにそのプレイ・スタイルを確立、やがてスター・ソリストへと成長していきました。

一方で、実生活ではかなりのドランカーであったようで、ステージ中に酔っ払って寝ていたためステージ上でエリントンと大げんかをしたという逸話も残っています。しかし、エリントンは自叙伝の中でポールと、ドラマーのサム・ウッドヤードを指して「ふたりはダメ人間だが、誰もがふたりを愛していた」と書いていることから、ポールのことをいかに信頼していたかが伺えます。



『Ellingtonia』

常人を逸したハイノート・ヒッター

Cat Anderson (tp) キャット・アンダーソン

ビッグバンドのリード・トランペッターはハイノートを必要とされるものですが、キャットの場合は常人を逸した高音を出すことで有名でした。バンドの代表的なナンバー「ロッキン・イン・リズム」では、そのエンディングにかけてダブル・ハイCから、ダブル・ハイAまでの間でフレーズを吹くという、超人的なプレイを聴かせてくれます。エリン

トンは、キャットをソリストとしてはもちろん、クラリネットと同様に音楽のアクセントに使うことが多かったようです。ちなみに彼は、「ザ・キャット・アンダーソン・トランペット・メソッド」という教則本を出版しています。その内容は、いったい誰ができるのだろっ!?という難度の高いものですが、我こそはという方はチャレンジしてみたいはかが?



『Cat's in the alley』

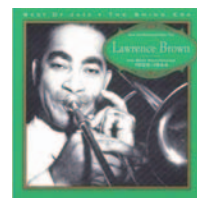
バンド・サウンドの一端を担った名匠

Lawrence Brown (tb) ローレンス・ブラウン

エリントン・バンドの魅力のひとつは、バラエティ豊かなメンバーたち(＝エリントンニアン)に他なりません。「オーケストラが私の楽器である」という彼の言葉からもわかる通り、エリントンのサウンドは、つまりメンバーに起因するものであるとも言えるのです。エリントン・バンドはサックス、トランペットに重要なメンバーを多く擁した一方、トロンボーンにもクエンティン・ジャクソン、ファン・ティ

ゾール、バスター・クーパーといった名人を多く配してきました。中でもローレンス・ブラウンは、1932年の入団以降、長くバンドの顔としてプレイを続けた名匠です。

甘く、あたたかな音色で紡がれる「ローズ・オブ・ザ・リオ・グランデ」「ソリチュード」などのプレイを聴けば、エリントンが愛して止まなかった理由がすぐに納得できるでしょう。



『An Introduction to ... 1929-1944』

デューク・エリントンを知るための8枚

1



『The Popular』

1960年代に入り世の風潮がロックに傾く中、新曲ではなく「キャラヴァン」「A列車で行こう」などのヒット曲に新たなアレンジを加えて発表。懐古主義で終わらず、バンドの力量を改めて世に知らしめたのが今作だ。デューク・エリントン、66歳にして衰えぬ音楽欲を聴くことができるが、それよりもなお驚かされるのは、これらのアレンジ。演奏が現在もなお斬新に響くこと。エリントンの偉大さのひとつは、その美的センスが生産することなく、常にエリントンをエリントンたらしめていたこと。このアルバムもそんな彼の魅力に溢れている。

2



『Ellington Indigos』

1957年に行なわれた5回のレコーディング・セッションからベスト・テイクをチョイスしてリリースされたオリジナル・アルバム。"もう1枚の『サ・ポピュラー』"と呼んで差し支えないほどヒット曲がずらり並び、それぞれで充実した演奏を聴くことができる。1940年代をエリントンの黄金時代と呼ぶ人が多いが、クラーク・テリー (tp)他、オールスター・メンバーが揃ったこの時期の演奏も聴き逃さない。これまで幾度となくリイシューされてきたが、近年はオルタナイト・テイクをすべてそそえたコンプリート盤がJazz Beatレーベルからリリースされている。

3



『Ellington Up Town』

1951年から翌年にかけて録音された本作では、ドラムがルイ・ベルソンに交代し、エンジンを交換したかのようなエネルギーギッシュな演奏を聴くことができる。1940年代に比べ、モダンなアレンジを鮮明な録音で聴くことのできるこの頃の作品は、エリントン初心者にもうってつけた。また、ここに収録された「A列車で行こう」は、テーマの後にバラッドへ転換し、ゴンザルヴェスのサクソ・ソロ、そして急速なバック・テーマへと流れるエクステンション・バージョン。「序破急」を地で行く、エリントン流エンタテインメントを存分に堪能することができる。

4



『The Great Paris Concert』

エリントン初心者にまずお勧めしたいのが、1963年にパリのオリンピア・シアターで行なわれた3回のライブをコンパイルした本作。スウィング感が溢れ出す「ロッキン・イン・リズム」、ジミー・ハミルトン (cl)とポール・ゴンザルヴェス (sax) のデュオで始まる「パーティード」、バンドの至宝ジョニー・ホッジス (as) による小粋なメドレーなど、聴けばエリントンの真髄がライブにこそ表われるということがわかり頂けるだろう。1963年の録音だから、古株のメンバーは誰も60歳を超えていたはずだが、それでこのエネルギー。聴くたびに圧倒される。

5



『The Ellington Suites』

1958年、エリントンはイギリスのエリザベス女王に謁見。そのことに感激して作ったのが、短編6曲からなる『女王組曲』だ。レコーディング当時は女王に献上するための1枚しかプレスされず、エリントンの生前は一般の発売がされなかったというもの。「シングル・ベタル・オブ・ア・ローズ」をはじめ、どの曲も優雅で美しく、エリントンの美的センスを端的に表わした名曲揃いだ。現在では、「グレート・エリントン組曲」「ユー・ウィス組曲」と共に3つの組曲を1枚のCDに収録し『女王組曲 (The Ellington Suites)』というタイトルでリリースされている。

6



『Far East Suite』

エリントン・オーケストラは1963年、インド、中国をはじめとしたアジア諸国に演奏旅行へ出かけた。ダマスカス、ヨルダン、ボンベイ、バグダッド、アンカラへのツアーを終え、翌年には初来日を果たす。それらアジア地域へのツアーの印象をまとめたのが、1967年にリリースされた『Far East Suite (極東組曲)』だ。民族的な解釈を見事なエリントン・サウンドで聴かせる本作には、来日の際の心象を綴った「アドリア・オン・ニッポン」という曲も収められている。高度成長期の日本が彼の目にどのように映ったのか、考えを巡らせながら聴きたい。

7



『The Afro-Eurasian Eclipse』

エリントンのキャリアの中でも最晩年に位置する、1971年にリリースされたアルバム。冒頭「シノアズリー」のイントロとして、2分弱エリントンの語りが入るが、それを聴く限り、このアルバムも「アフロユーラシアン・エクリプス」という組曲として考えていたようだ。全世界の東洋化を予見したマーシャル・マクルーハン教授の言葉からイメージを膨らませて作った「シノアズリー」をはじめ、土着的な作風が多くを占めており、8ビートやシャッフルも多用するなど、数多いエリントンの作品の中でも変わりダネと言える。

8



『The Last Jam Session』

最後に映像作品もひとつ。エリントン・オーケストラの映像作品は20本近くがDVD化されているが、中でも1966年にコート・ダジュールで数日にわたって行なったコンサートの模様をドキュメンタリー形式で収録した本作は、資料的にも音楽的にも価値のあるもの。映像の利点として、バンド・メンバーがいかに楽しく演奏しているか、観客の反応がどれほどのものかがよくわかる。Verveからはこの数日間のコンサートの模様を完全収録した8枚組のアルバム『コート・ダジュール・コンサート』もリリースされているので、併せて楽しみたい。



©EMI Music LTD 提供: EMIミュージック・ジャパン

初級脱却



“練習してるのに、なかなか上達しない”“いつまでも初級レベルから抜け出せない”……そんな悩みを抱えている管楽器プレイヤーにぜひオススメしたいのがCD付き教則本『初級脱却』だ。サックス&ブラス・マガジンおよび公式Webサイト“サックス&ブラス・チャンネル”での連載で人気を博したセミナーを1冊にコンパイルした本シリーズでは、トランペット/サックス/トロンボーンの効果的な練習方法を紹介するのはもちろん、ワンランク上を目指すために必要なポイント、意識の持ち方までしっかりレクチャー。ここでは本書の魅力を知っていただくべく、その一部を特別大公開！

初級を抜け出せ！～トランペット編

まず最初は、トランペット奏者のための“初級脱却”のノウハウを紹介！

文：中山浩佑

Trumpet

ミストーンを克服する3つのポイント

トランペッターなら誰も頭を悩ませる“ミストーン”。本項ではミストーン減らすためのコツを、3つのポイントに分けて解説していこう。

POINT1 音感を養う

だいたい音を外すときって1音目が多いですよね。その理由とは一体何なのでしょう？ さまざまな要因は考えられますが、1つの原因として音が狙えていないということが考えられます。ではどのように対応していけばいいのでしょうか？ それにはまず音感を養うことが大切です。絶対音感がある人はまだしも、筆者のように相対音感の人はなかなかハードルの高いことですね。気持ちはわかります。そこでこんな練習をしてみましょう。

自分の好きな曲のメロディの中から“ド”や“ミ”といった音を覚える

例えばF#だったら「ロッキーのテーマ」のメロディの1音目を思い浮かべて吹くとか、自分の好きな曲からガイドとなる音を12個分見つけておくと、頭の中で音程のイメージがしやすくなります。

POINT2 スケールをスラー&タンギングで練習

スラーとタンギングは常に対の関係にあります。

す。どちらも同じように練習することでよりレベルアップできるようになると思います。スケールは上から下まで出せるところまででOK、スラーで吹いたら次にタンギングで練習しましょう。スラーで演奏するときはタンギングをしているときの舌の感じで、タンギングで練習するときはスラーのような息の使い方を意識してください。また、タンギングを練習すると舌がその音域を覚えるので、結果的にミストーンを少なくすることができると思います。

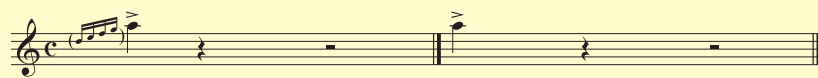
POINT3 出す音の手前に装飾音符を思い浮かべて吹く

頭の中で、狙っている音の手前に装飾音符を

付けてみましょう(譜例A)。例えば五線の上のラを狙うとしたら、右の譜面のようにいきなり“ラ”を狙うのではなく、左の譜面のように“ラ”の手前に“レミファソ”と想定してから“ラ”を狙ってみましょう。そうすることによって“ラ”だけを狙うよりも、音が狙いやすくなると思います。

ほかにも音を外す要因としていろいろあることが挙げられます。例えばブレスをうまく取れてないとか、息を吸おうとして、あるいは吐こうとして余計な力を入れてしまったりと、いろいろあるでしょう。でも、1つ1つのポイントを積み上げていくとどんどん解決されていくことだと思うので、焦らず練習していきましょう。

譜例A 装飾音符を付けた例



難しい運指を左手で練習してみると!?

難しい運指の場合、替え指で対応するということも考えられますが、今回紹介するのは“左手で譜面をさらす”という方法です。面白いもので、普段使わない方の手(左手)で練習すると、元の手(右手)に戻ったときには、普段よりも比較的短時間で吹けるようになります。できるだけ譜面を覚え、演奏中に楽譜を見ないようにすると、より早く

マスターすることができるので、そこもポイントです。困ったときは一度試してみてください。

また、ちょっと上の方の速いスラーのフレーズなどでは音の切れ目が曖昧になりがちになることがあります。スラーといえど、はっきりと音の切り替えはした方が良いでしょう。そういうときに替え指を使うという手があります。替え指を使うとピス

トンが音のキレを増してくれるので、大変有効な場合があります。例えば“ドレミファ”を速く吹くときに、通常は“0・1・0・1”運指であるところを、替え指で“0・1・12・1”と“ミ”の部分の替え指にすることによって、音の切り替わりがはっきりすると思います。

“運指が難しく、なかなかうまく吹けない……”というときは、ある裏ワザを使ってみよう。

綺麗な音色を作るトレーニング

非常に初歩的な内容に思えるかもしれないが、ここで再認識してほしいのが“音作り”について。ぜひ毎日の練習に取り入れてみよう。

■リップ・スラーで音色を磨く

ここで言う“綺麗な音の定義／根拠とは？”と思う人もいるかもしれません。ここからはあくまで筆者の価値観の中の話ですが、ベーシックな綺麗な音とは“ピッチ(音程)のいい音”だと思っています。なぜなら、“音色＝ピッチ”と言えるからです。ピッチが良いと音が整理され、響きや音像がブレずに演奏できる、ということにつながっていきます。特にいろいろな音域を吹いたときに、響きや音色が変わってしまったり、音像がブレるということにならないように気をつけていただきたいと思います。常に一定の響きで音色をキープし、音像がブレない演奏を目指す。それができるのが楽器のうまい人であり、その結果出てくる音色というのが、綺麗な音色だと思っています。もちろん、ジャンルによってケース・バイ・ケースですし、この考えがすべてだとは思いませんが、演奏のベーシックな部分の“うまさ”というのは、このようなことではないでしょうか？

それではまずリップ・スラーから始めていきましょう。リップ・スラーとは同じ運指のまま唇と息のコントロールだけで音を変えることです。これは唇の柔軟性(フレキシビリティ)を養う練習になります。唇の柔軟性を高めることは、結果的に音色が柔らかくなるので、毎日の練習に取り入れてみましょう。

譜例Bはリップ・スラーの練習です。この練習の注意点として、音域によって息や楽器、顔が必要以上にがくがく動いて上下しないこと。口が動きすぎない、ということを意識してみてください。できるだけ小さな動きで音を変えられるようにしましょう。舌をうまく使い、息のサポートをするようなイメージで練習するといいかもかもしれません。特に音域が下がるときに陥りやすいのが、口の間隔を狭めてしまいうまくできないということ。このような症状の人は結構多いので、リップ・スラーにかかわらず注意してください。

この練習をする際に、ケータイのムービー機能などで自分の吹いている姿を撮影するとよいと思います。そうはいいっても恥ずかしいし、自分の演奏を見るのってつらいと思うんですけど、試しに一度だけでもよいのでやってみてください。すごくいろいろな発見があるし、また違った目線で自分を見つめ直すことができると思います。ここで

は123の運指のみを紹介していますが、これを半音ずつ上げていき、13、23、12、1、2、0といった、いろいろな運指でも練習してみましょう。

■スケールとアルペジオで音色を磨く

続いては、スケールとアルペジオ(分散和音)を練習してみましょう(譜例C、D、E)。巷の教則本でもよく目にする言葉ですね。でも、なぜそれをやらなければいけないか？と聞いたら、ほとんどの人は答えられないのではないのでしょうか？その答えは、“スケールやアルペジオというのがピッチ感を鍛えるのにとても有効な練習だから”と言えます。そして、スラーやタンギングの練習にもなり、ミストーンを減らすことができるようになるのです。余談ですが、スラーやタンギングの練習をすると、舌が音のポジションを覚え、無理なく息を吐いて演奏できるようになるので、音の当てるポイントを絞りがやすくなってきます。こちらも

前述のように、一定の響きで音色をキープし、音像がブレない演奏を目指してこの練習に取り組んでみましょう。特にアドリブをやっている人はスケールをよくさらうと思いますが、そうでない人もぜひやってみてください。慣れない音程感で難しく感じてしまうかもしれませんが、非常に効果的な練習になると思います。特にアドリブを勉強している人にはお勧めです。やってみるとシンプルですが、難しく練習なのですが、初めは焦らずゆっくりとしたテンポから始めてみましょう。

ここで紹介したのはCのスケールのみですが、下は最低音のF#まで、上は吹けるところまで半音ずつ上がってみましょう。アルペジオも同様で、ここから上がれるところまで半音ずつ上げてください。これらの作業を紙か何かに書いてやってもいいですし、頭で移調しながらでも構いません。確実にレベル・アップできると思えますよ！

譜例B リップ・スラーの練習



譜例C スラーでスケール練習



譜例D タンギングでスケール練習



譜例E アルペジオの練習



初級脱却 トランペット練習術

プロが実践する基礎トレ、裏ワザ満載

■著者：中山 浩佑 ■定価：1,890円 ■A5判 / 140ページ / CD付き

サクセス&プラス・マガジンおよび公式Webサイト“サクセス&プラス・チャンネル”での連載で人気を博したセミナーを1冊にコンパイル。本書ではトランペットを演奏する上で、多くの人がぶち当たる壁を克服し、上達の助けとなる練習方法やノウハウを紹介しています。また、練習フレーズのみならず、紹介する練習が上達する上でどのような効果をもたらし、何を具体的に解説しているのも特徴。本書を読んで目的を定めて練習することで、必ずや“初級レベル”から抜け出せるはず！

著者PROFILE◎中山 浩佑

トランペットを15歳から始める。尚美学園大学音楽表現学科Jazz&Popsコース Trumpet科卒業。エリック・ミヤシロ、西村浩二、木幡光邦、松島啓之、奥村晶、辻本憲一、生川耕次郎、各師に師事。在学中よりスタジオ・ワークを中心にライブ、作・編曲、ミュージカルやTVなどジャンルにとらわれずオールマイティに活動中。自己のバンドをはじめ、エリック・ミヤシロEM BAND(サポート)、木幡光923BigBand、メジャー・アーティストのツアーなどにも参加。プレイヤーとしての活動だけでなく、個人でのレッスンや高校に招かれてのレッスンも行など後進の育成にも積極的に取り組んでいる。



初級を抜け出せ!〜サクソ編

次に、アルト&テナー・サクソ奏者のための“初級脱却”に向けた練習法を紹介!

文:竹村直哉



唇をつまんでアンブシュアをチェック

まずはアンブシュアのお話。自分の奏法をチェックするのに、ちょうど良い簡単なトレーニングについて紹介しよう。

まずは普通に楽器を吹いてください。フレーズは何でも構いませんが、最初はオクターブ・キーを押さえないソ(G)あたりのロングトーンがいいでしょう。そしてロングトーンをしたままで**右手で上唇をつまみ、そのまま上の歯が見えるように唇を引き上げてみましょう**。どうですか? ちゃんとつまんで引き上げられましたか?

恐らく最初は上唇をつまむことはできても、上の歯が見えるくらい引き上げることは難しいのではないのでしょうか? これはマウスピースに対する上唇のプレスが強く、力んでしまっている状態なのです。

上唇のプレスが強いとマウスピースの振動を殺

してしまい、音色はこもって響きも乏しくなり、結果として楽器の響きを十分に引き出すことができません。上唇をリラックスさせて、プレスを最小限にすることができれば、指でつまんで上下左右に動かせるだけでなく、指でつままなくても上唇を上下に動かすことができるはず。この**“上唇をリラックスさせる”ことが、響きを向上させる重要なポイントの1つ**なのです。

そしてもう1つ、上唇を上げて、歯を見せたままの状態でちゃんと音は出せましたか? この練習は唇のプレス具合を確かめるだけでなく、**“息の向き”を確かめるのにもちょうどよい**のです。

もしこの吹き方をしたとき、息の音ばかりに

なってしまう楽器の音がちゃんと出ていないとすれば、それは息の向きが上ずってマウスピースの中にちゃんと入っていないか、息が広がって圧力がかかっていない状態になってしまっているということなのです。息が無駄なくマウスピースへまとまって入っていたら、上の歯を見せたままでも通常の奏法とほぼ同じ音量と音色で鳴らせるでしょう。

この練習はちょっと見た目が悪いのが難点ですが(苦笑)、これらのことをチェックするのに最適です。恥ずかしがらず、ぜひやってみてくださいね!

ロングトーンの練習でダイナミクスをつけると?

ロングトーンの練習をただ何となくやっていないかな? ダイナミクスをコントロールすることによって、ロングトーンの意味も大きく異なるのだ!

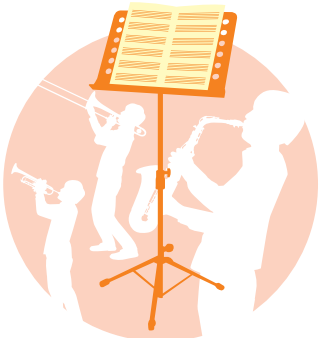
■小さな音でロングトーンをする

通常ロングトーンをするときは、一番リラックスして出せるダイナミクス(仮にここでは**mf**としましょう)で行うと思います。これはまさに正しいロングトーンの1つのあり方です。

では、極端に音量を下げた状態でロングトーンを行うと、どのようになるのでしょうか? まずは一度、自分が最も小さいと思う音量で、五線真ん中のシを吹いてみてください。最初は、ある一定のところよりも弱い音を出すのが困難だと思います。息が楽器の一番自然に振動するポイントに入っていないことや、唇や体の極端な緊張、腹圧の低下などが原因だと言えます。

pや**pp**の音(さらには**ppp**やもっと小さい音)は、決して力任せの勢いでは出し得ないものです。逆を言えば、このように小さい音量をコントロールしてロングトーンを行うことが、エアや体のバランスを整えるいいトレーニングになるとも言えるのです(譜例A)。

この小さい音量でのロングトーンでコツをつかむと、先ほどのシ(B音)が音になるかならないかの弱さで、40秒から長い人では60秒以上の間、音をキープし続けることが可能になるでしょう。



譜例A 極端に小さい音でロングトーンを吹く



あえて重ねて言いますが、小さい音をキープするというのは、体を緊張させたり勢いをつけては決して出すことができません。小さい音においてもリラックスしてコントロールやバランスのとれた、美しい音を目指すことが重要です。

また、このバランスを意識したまま息の強さを**f**や**ff**に上げてみましょう。そうすると勢い任せのみの、荒れてうるさい、コントロールを失ってしまった音ではなく、大きな音量で豊かに響き、コントロールの効いた**f**や**ff**のサウンドを出せるようになるでしょう。

このように小さい音で吹く練習は、ロングトーンのみならずさまざまなトレーニングにおいて実に有効です。意識して練習してみてください。

■クレッシェンド/デクレッシェンドを伴うロングトーン

前段では弱く吹くトレーニングでしたが、引き続き強弱のコントロールを意識してみましょう。ここからはダイナミクスを一息の中で変化させて吹くロングトーンについて説明していきたいと思います。

まず上の譜例Bを見てください。一息の中でクレッシェンド→デクレッシェンドする指示がありますね。

この譜例の吹き方を説明します。

①音の出だしは息の音だけで、徐々に音程が現れ

譜例B クレッシェンド→デクレッシェンド



てくるように吹いてみましょう。息の音から唐突に楽器の音へ変わらないように注意。特に音になり始めたところを入念にチェックしてください。

②そして、そのまま息の量を増やしてクレッシェンドし、コントロールできる一番大きい音まで楽器を響かせます。このとき、息の向きやピッチが変化しないように、また勢いに任せてクレッシェンドしないように!

③そのままデクレッシェンドをし、最後はやはり息だけの音に戻ります。ここでも音の終わりがブツリと突然切れないよう、自然に消えるように意識してみましょう。

音の出だしから正しい息の入れ方をしていなければ、継ぎ目のないシームレスな音の流れになりません。逆に言えば、音の出だしと終わりに細心の注意を払ってロングトーンを行うことで、楽器が自然に鳴るベストな息の入れ方がイメージしやすくなります。そのイメージをつかんだら、あとは音にダイナミクスをつけるだけ。美しい立ち上がりで音を鳴らすことができるようになってきていると思います。

このように、一見単純に見えるロングトーンもアイデアを持って取り組みれば、実にさまざまなヒントを得ることができます。ロングトーンを通して美しくコントロールの効いた音を獲得できるように、頑張ってみてください。

一挙両得の実践的スケール練習

スケール練習は運指を鍛えるためのものではあるが、さまざまなパターンで吹いてみることによって、リズム感やニュアンスのトレーニングにもなるぞ！

ここではまず、譜例Cのようにすべてタンギングでスケールを吹いてみましょう。

2番目と3番目、4番目と5番目……がスラーでつながった譜例Dは、いわゆる裏タンギング。2番目、4番目……といった偶数番目(裏拍)のタイミングでタンギングします。特にジャズやポピュラー音楽独特のニュアンスをつかむのによいでしょ。

また譜例E、Fのように3連符や16分音符などで練習してみると、スケールをリズムに乗せて吹く意識が一層高まります。

1日のうちにこれらすべてを練習するのは大変かもしれませんが、これらを12キーで吹けるようにすることは、メジャー・スケールに限らず、これからあなたが会おうであろうあらゆるスケールやフレーズを習得する上でとても重要です。大変長い道のりのように思えるかもしれませんが、千里の道も一歩から。焦らず楽しんでスケール練習に、取り組んでみてくださいね！

譜例C すべてのタンギングする



譜例D 裏タンギングで吹く



譜例E 3連符のスケール



譜例F 16分音符のスケール



サブトーンをマスターするには？

ジャズ/ポップス系サックスにとって必須とも言えるテクニック、“サブトーン”を練習しておこう！

サブトーンと聞いて、どんなサウンドを思い浮かべますか？ 特にジャズ・サックスでサブトーンは表現の幅を広げる有効な音色の1つ。スタン・ゲッツやジェリー・マリガン、アート・ペッパーのような、とてもスモーキーなサウンドが特徴です。下あごをほんの少し後ろへ引くことで、リードが振動する部分を通常時よりも短くし、振動を押さえることによって出すことができます。このとき、ノーマル・トーンよりもピッチが低くなりやすいので注意しましょう。

譜例G サブトーンで下降



続いては、サブトーンで五線真ん中のソからゆっくり半音で下がっていく練習です(譜例G)。

息が足りなくなったらブレスをしても構いません。最初はド#辺りから下の音がサブトーンで出づらいかもしれませんが、下唇のポジションや

リードにかかる唇の圧力などに注意しながら入念かつ根気強く練習してみてください。やはりピッチが下がらないようにすることをお忘れなく！あとはサブトーンで出せる音域を、徐々に上へと広げていきましょう。

リズムの取り方は間違っていない？

リズムを見失わず、フィールを正確にキープし続けて演奏できているかな？ いま一度、曲中のリズムの取り方を見直しておこう。

例えば4/4拍子の4ビート・ジャズのようなスタイルの場合、一般的に2拍目と4拍目にハイハットなどでアクセント(強勢)が来ることから、2拍・4拍でカウントし、リズムを取っている人をよく見かけます。ですが、実はこれでは不十分です。4/4拍子の場合、リズムは4分音符で4拍あり、4分音符単位での表拍(1拍目と3拍目)があるから裏拍(2拍目と4拍目)が存在します。すなわち裏拍は

あくまで単なるアクセントであり、カウントやビートをわざわざ裏拍でとる必要はなく、むしろ重要なのは表拍をどれだけ正確かつはっきりと感じることができるか。表拍あつての裏拍なのです。

ニューヨークの伝説的ピアニスト、バリー・ハリスは“リズムをタップするときには1拍目3拍目を踏め”と言っています。また、以前カウント・ベイシー楽団のメンバーから“ベイシー楽団でもリス

ムを取るときは表拍で取る”という話を直接聞きました。ミディアム4ビートのみならず、ファースト・スウィングで頑なに裏拍でカウントすること自体が、ナンセンスなのです。

演奏をするときはまず、表拍/裏拍を含めたビート全体を感じ、そこから強拍(1拍目)そして表拍をしっかり感じるようにしましょう。



初級脱却 サックス練習術 (アルト&テナー対応)

プロが実践する基礎トレ、裏ワザ満載

■著者：竹村 直哉 ■定価：1,890円 ■A5判 / 140ページ / CD付き

サックス&ブラス・マガジンおよび公式Webサイト“サックス&ブラス・チャンネル”での連載で人気を博したセミナーを1冊にコンパイル。本書では“なぜ練習してもなかなかうまくならないのか”など、伸び悩みを感じているサックス・プレイヤーの上達への助けとなる練習方法やノウハウを紹介しています。また、練習フレーズのみならず、紹介する練習が上達する上でどのような効果をもたらすのかを具体的に解説しているのも特徴。本書で“初級脱却”のポイントを紐解きながら取り組むことで、きっと初級脱却の道が開けるはず！

著者PROFILE◎竹村 直哉

中学入学と同時にクラリネット、翌年よりアルト・サックスを始める。大学入学後は、早稲田大学ハイ・ソサエティ・オーケストラに所属。学生時代よりプロ活動を始め、現在はバリトン・サックスを軸としたマルチリード奏者として数多くのビッグバンドでのライブ活動のほか、DREAMS COME TRUE、マンハッタン・トランスファー、EXILE、横原敬之、鈴木雅之、BoA、BONNIE PINKなどのサポート、劇団四季・宝塚歌劇団・東宝ミュージカルなどのステージへ参加。多数の劇伴やスタジオ・ワークなども行っている。長島一樹との双頭バリトン・サックス・バンド、TOKYO BARITONE MADNESSとしても活動中。

初級を抜け出せ!〜トロンボーン編

最後に、トロンボーン奏者のための“初級脱却”に役立つ練習法を紹介!

文・榎本裕介



舌の精度を上げる2種類のタンギング

タンギングの上達は、そのまま楽器の上達につながると言ってもいい重要課題。“何のためにタンギングの練習をするのか”を常に考えながら練習しよう。

極端に短い音でのタンギングと、長い音のタンギングを組み合わせました(譜例A)。1小節目のスタッカートは1つ1つタンギングをするのではなく、ロングトーンを舌で遮るイメージです。2小節目では、立ち上がりクリアになるよう心がけましょう。短い音が鳴らなったり、音が潰れてしまったりするときは、タンギングが成功していないということです。舌の動きの強化ではなく、舌の動きの精度を上げるという意識を持って練習してください。

譜例A 舌の精度を上げる2種類のタンギング



音域を広げたリップ・スラーの練習

唇の柔軟性を高める効果もあるリップ・スラー。柔軟性が高いと、音色が柔らかくなったり、唇の振動効率がよくなってバテにくくなるぞ!

■息のコントロールに重点を置いて

さっそく譜例Bの解説です。まず、最高音に行ったときに唇を締めつけすぎないように気をつけましょう。息のコントロールをすることに重点を置いて、吹いてみてください。特に6ポジションや7ポジションは、管の長さが最も長くなります。コントロールがとても難しいので、ゆっくりしたテンポから1つ1つ音を丁寧に狙いましょう。まだまだ音域に余裕のある人は、さらに上の音を付け加えて、どんどん増やしてみてもいいですね。高い音から低い音へのつながりが綺麗に吹けると、跳躍のあるフレーズも楽になりますよ。

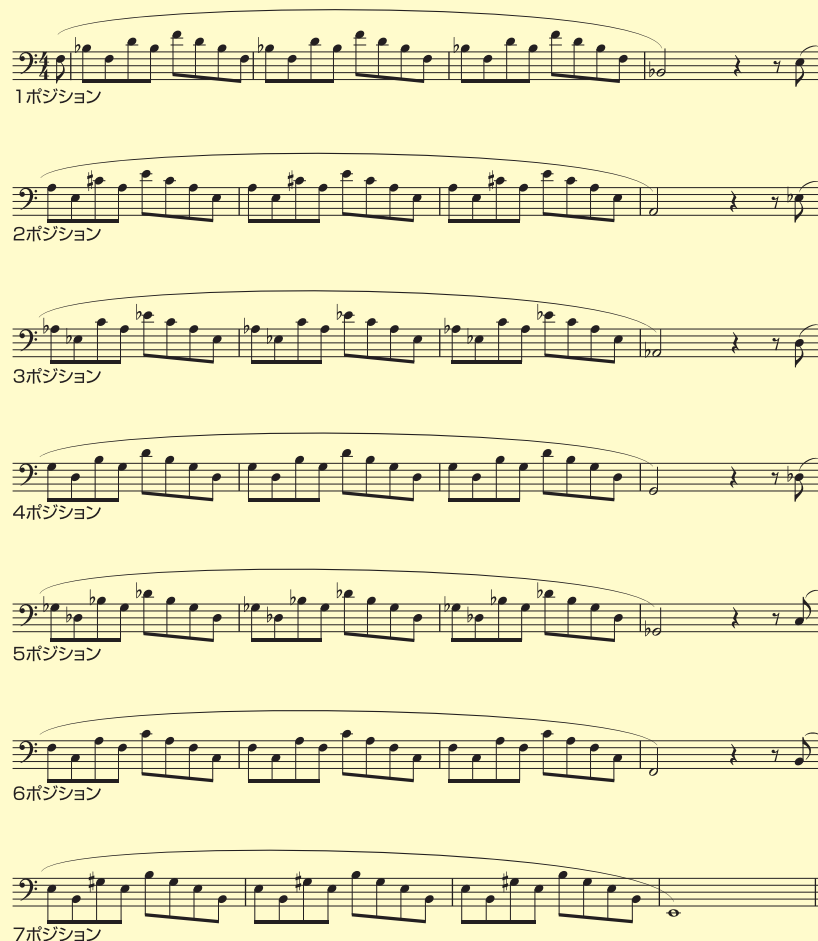
■上達に必要な要素がたくさん詰まっている

音と音のつながりを良くしたり、息のコントロールが身につくリップ・スラーですが、効果はそれだけではありません。自分の吹ける音域を広げる効果もあるのです。なぜか? リップ・スラーは、息のコントロールに重点を置いて吹くテクニック

です。そのため、タンギングに頼った力んだ高音域ではなく、その音に合った息のスピード、アンブシュアなどが身につくのです。高音域では、勢いに任せて吹くよりも効率的なブレス・コントロールの方が重要なのです。また唇が柔軟になるの

で、息に対する反応が良くなり、バテにくくなります。といった具合に、リップ・スラーには上達に必要な要素がたくさん詰まっています。ぜひデイリー・トレーニングや基礎練習の中に組み込んで、マスターしましょう。

譜例B 音数と音域を増やしてリップ・スラー

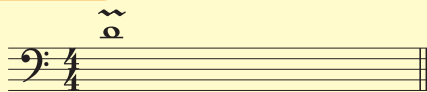


リップ・トリルはできますか？

リップ・トリルは、ビッグバンドやホーン・セクションの譜面によく出てくる表現方法。リップ・スラーの延長という感覚で、さらに高速で行き来しよう。

最初から速いリップ・トリルができてしまう人もいます(羨ましい!)。筆者は最初まったくできなかったのですが、このフレーズでゆっくり練習しました。速くできるよりも、テンポに合わせて正確にできる方が大事です。音の跳躍の幅やタイミング、テンポを揃えたりすることがあるからです。また、舌で息の流れをコントロールして、音を変えるイメージを持ちましょう。地声と裏声をキレイに交互に出すようなイメージで吹くと、やりやすいかもしれません。

譜例C リップ・トリルの記入例



譜例D リップ・トリルの練習方法



スライド操作の正確性を上げる

スライドを動かす速さ、タイミング、タンギングの運動は、トロンボーンを演奏する上で重要。ここではスライド操作の正確性を上げる練習をしよう！

同じフレーズでも、スライドを動かす速さでまったく別のものになります。どちらもできた方がよいですが、その音楽にマッチするスピード感、タイミングを意識しないと、その場を壊してしまいます。まずはブレンな状態できちんと吹けること。その方がいろいろと対応できるし、音楽的です。要はいきなりドリフトするより、まずは普通にコーナリングしようって話ですね(笑)。

譜例Eは、スライドの正確性を上げるだけでなく、2つ音の幅(音程)を覚えるのにも有効で、跳

躍の練習にもなります。いろんな音域で練習してみましょう。トロンボーンは楽器の性質上、音が高くなれば高くなるほど次の音のポジションが近くなります。しかも意外なことに、ポジションが近

い方が、ポルタメントが入りやすいのです。無意識に入ってしまうことが多いので、実に厄介です。自分で録音したり、仲間と聴き合って注意してみてください。

譜例E スライドの正確性を上げる練習



替えポジションのメリットと基礎トレーニング

いつも体感している通常ポジションの鳴り方だけでなく、替えポジションの吹き心地や鳴り方も体に馴染ませておこう。

■ロングトーンで替えポジションに慣れる

まずはロングトーンから始めます。通常ポジションと替えポジションを交互に吹きます(譜例F)。替えポジションはたくさんありますが、ここではよく出てきそうな4つの音を選びました。チューナーやピアノ、キーボードなどを使って、耳で音程を確かめながらやってください。

■替えポジションを使ってフレーズを吹く

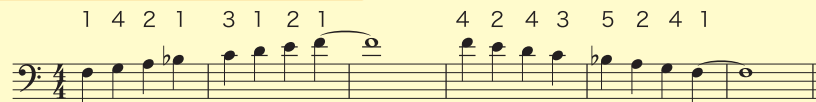
続いてスケールを吹いてみましょう。前述の4つの音が含まれている、Fメジャー・スケールです(譜例G)。上昇(1~3小節)は通常ポジション、下降(4~6小節)は替えポジションです。音符の上の番号はポジションです。音が連続するフレーズやメロディを吹くときでも、違和感なく使えるよう練習してみてください。

■鳴り方の違いを利用した吹き方ができる

譜例F 替えポジションでロングトーン



譜例G 同じフレーズを替えポジションで



同じ音でも鳴り方が違うということは、デメリッばかりではありません。場面に合わせて使い分けることができる、ということでもあります。例えばHigh C は、1ポジションでも3ポジションでも出せます。しかし、1より3の方がオープンで明る

い音が出るので、筆者はキメの音やテンションの高い打ち込み系の曲などでは、3ポジションを使うことが多いです。このように、替えポジションを知っていると、表現方法が増えるというメリットがあるのです。



初級脱却 トロンボーン練習術

プロが実践する基礎トレ、裏ワザ満載

■著者：榎本 裕介 ■定価：1,890円 ■A5判 / 140ページ / CD付き

サクセス&プラス・マガジンおよび公式Webサイト「サクセス&プラス・チャンネル」での連載で人気を博したセミナーを1冊にコンパイル。本書ではトロンボーンを演奏する上で練習の成果がうまく出ず伸び悩んでいる人にぜひ知ってもらいたい、上達の助けとなる練習方法やノウハウを紹介しています。また、練習フレーズのみならず、紹介する練習が上達する上でどのような効果をもたらすのかを具体的に解説しているのも特徴。本書を読んで日々の練習を行えば、その成果は必ず実を結びます！

著者PROFILE◎榎本 裕介

小学4年生のときにブラスバンドでトロンボーンを始める。大学入学と同時に明治大学Big Sounds Society Orchestraに所属。ヤマトビッグバンドジャズコンテストにおいて最優秀賞、優秀賞をバンドで受賞。大学3年時には同コンテストで最優秀ソロist賞を受賞する。卒業後に浅草ジャズコンテスト、バンド部門グランプリを受賞。現在はトロンボーン四重奏ヴォルツをはじめ、内堀勝&Big"LUSS" Band、羽毛田耕士ビッグバンド、ババルジャズ・ビッグバンドといった多数のビッグバンドや、有名アーティストのレコーディング、ツアー・サポート、自己のバンドなど多岐にわたって精力的な活動を展開している。






















楽器探そう!

デジマート

新 着 情 報

2013年9月4日現在の情報です。売切れの際はご容赦ください。
在庫の有無に関しましては、各楽器店に直接問い合わせるか、
デジマート<http://www.digimart.net/>をご確認ください。

新品	 <p>Gibson Les Paul 60's Tribute ¥99,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02121772 高いコストパフォーマンスで人気のシリーズ“Les Paul 60's Tribute”が2013年モデルとしてリニューアルされて登場! ロッキン 名古屋栄店 ☎052-243-0111</p>	 <p>Aria Pro II LS-500D '80 DiMarzio PU “Made in Japan” ¥42,000(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02106731 ゴールドトップのLes Paulモデル。ディマジオPUマウントです。 GUITAR SHELTER ☎044-872-9101</p>
中古	 <p>Greco FB-98 Firebird Model ¥79,800(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02122593 国産コピーモデル全盛期の頃のギターです。 おとぐらく音蔵 ☎06-6641-8298</p>	 <p>EDWARDS E-FR-130GT ¥34,800(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02122084 edwardsを象徴するモデル、Forestが入荷です。 万代 札幌手稲店 ☎011-788-2125</p>
新品	 <p>Fender Japan TL72 ¥57,120(税込) 状態:S 楽器ID:DS02120848 国産ピックアップを搭載し、魅力のブライスを実現したニュー・モデル。 イシバシ楽器 御茶ノ水本店 ☎03-3233-1484</p>	 <p>K.Yairi YD-72S 1994年製 ¥39,800(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02122654 純日本製にこだわる職人集団 K.Yairi による12弦ギター。 クリアで倍音豊かなモデルです。 イシバシ楽器 御茶ノ水ANNEX ☎03-3292-1484</p>
新品特価	 <p>PRS SE245 ¥47,250(税込) 状態:S 楽器ID:DS02122279 トラディショナルなシングル・カットウェイ・プレイヤーに最適なギターです。 サウンドクルー立川 ☎042-527-6919</p>	 <p>Taylor Baby Taylor NAT ¥43,000(税込) 状態:S 楽器ID:DS02120568 テイラーのコンパクトサイズ・アコースティック・ベイベーテイラー・ナチュラルフィニッシュ。 イシバシ楽器 立川店 ☎042-528-1484</p>
中古	 <p>YAMAHA SA-700 ¥63,000(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02108017 根強い人気を誇るヤマハのセミ・アコースティック・ギター。 THE中古楽器屋 ☎03-5386-4560</p>	 <p>YAMAHA FG-200 ¥14,800(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02122471 とっても鳴りの良いブラックラベルのFG-200が入荷致しました! DEUCE(デュース) ☎052-711-1190</p>
B級特価	 <p>Bacchus BTE-1R (LPB) ¥9,980(税込) 状態:S 楽器ID:DS02121435 バッカス ユニバースシリーズの新ラインナップ、BTE-1シリーズ。 イケベ楽器店 ロックハウス ☎03-3989-0069</p>	 <p>Martin LXM ¥39,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02115180 2003年に発表された“リトル・マーティン”LXM。ミニサイズながらしっかりマーティンサウンドはさすが!! (株)山野楽器 サウンドクルー吉祥寺 ☎0422-20-3255</p>
新品	 <p>Epiphone Limited Edition Les Paul Custom Pro ¥39,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02122699 限定カラーのレスポールカスタムモデル。 ロッキン 名古屋栄店 ☎052-243-0111</p>	 <p>Morris W-40 ¥24,000(税込) 状態:A 楽器ID:DS02074411 トップはスプルース、サイドバックにはアンデスローズを使用したドレッドノートサイズのギター。 スタジオM ☎0587-53-6416</p>
中古	 <p>Burny MG-145S ¥79,800(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02122746 HIDEモデルMG-145Sが入荷! サステイナー搭載モデルです。 中古ギター専門店 シモクラセカンドハンズ ☎03-3295-4611</p>	 <p>Kumalae KT-70G テナーウクレレ ¥33,000(税込) 状態:S 楽器ID:DS02092251 合板のハワイアンコアをボディに使用し、アバロンバインディングで仕上げたモデル。 おとぐらく音蔵 ☎06-6641-8298</p>
新品	 <p>Epiphone Les Paul Standard Plain-Top (MG) ¥27,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02121236 超定番! レスポール“ブレーン・トップ” イケベ楽器店 プレミアムギタース ☎06-6253-0069</p>	 <p>Ibanez UEW10QME-OPG ¥21,000(税込) 状態:S 楽器ID:DS02121042 Ibanezのエレクトリック・ウクレレ! クロサワ楽器 G-CLUB SHIBUYA ☎03-3462-0261</p>
B級特価	 <p>EDWARDS E-HR-135-3 ¥69,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02119209 1本限りの決算SALE価格です! ロッキン吉祥寺 ☎0422-23-2311</p>	 <p>Kamaka HF-1 Standard ¥69,800(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02100591 デカールロゴ、コネク、スクエアショルダーのホワイトラベル。 コアな音色が楽しめます。 梅田ナカイ楽器(株) 阪急三番街店 ☎06-6372-9266</p>

新品		YAMAHA BB424 ¥48,720(税込) 状態:S 楽器ID:DS02123206 多くのプロベーシストに愛用され人気の高いBBシリーズベースが 入荷。 (株)きんこう楽器ロクストア ☎075-801-6399	新品		Gretsch G-4160 Round Badge ¥59,062(税込) 状態:S 楽器ID:DS02121473 ジャンル、スタイル不問、あらゆるドラマーに自信を持ってお勧めで きる本物のプラススネアです！ Drum Mart AMERICAN GROOVE ☎04-7147-1037
		Cool Z ZJB-1R/5 ¥42,000(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02123181 日本製ジャズベースタイプの5弦ベースです！ 中古ギター専門店 シモクラセカンドハンズ ☎03-3295-4611			PDP PA-CM5 PDCM2215/TC ¥49,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02111528 dwの弟分ブランドpdpのドラムセット入荷しました！ セットの至る所にdwで培った技術が盛り込まれています！ (株)ミュージックランドKEY 京都店 ☎075-254-7780
新品		Aria Pro II MAB-STD II MSS ¥16,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02122104 PJタイプのピックアップを搭載した「MAB-STD II」は、オールマイ ティーなサウンドと、軽くバランスの良いボディが魅力。 chuya-online.com ☎093-531-3656	サブ 楽器		Ludwig Acrolite LM404 80's ¥34,800(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02109928 アルミスネアの定番Ludwig Acroliteの80年代製中古が入荷いた しました。 クロサワ楽器店 ドラムコネクション ☎03-3292-9251
B級 特価		G&L SB-2 Silver Flake ¥95,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02119389 国産Premiumシリーズ！ シルバースパークルにミラーピックガード と見た目も個性的です！ (株)ワタナベ楽器店 京都本店 ☎075-231-2778	中古		SABIAN AAX Metal HiHats 14 Top&Bottom ¥12,600(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02122016 SABIAN AAX Metal HiHats 14 Top&Bottomが中古にて入荷 しました！ (株)ウエスト ☎089-947-2510
新品		Epiphone Goth Thunderbird IV Pitch Black ¥23,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02121301 エピフォンからゴシック・シリーズのサンダーバード・ベースです。 ロッキン 刈谷本店 ☎0566-23-0111	B級 特価		Pearl P-900 ¥5,980(税込) 状態:A 楽器ID:DS02116879 癖が無く軽快なフットワークで、アンダープレート付きのためしかり とした安定感のあるモデル。 イケベ楽器店 ドラムステーションリボレ秋葉原 ☎03-5825-6969
新品 特価		Warwick RockBass Corvette Basic 5st Active ¥49,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02123094 2バンドアクティブEQを搭載し、幅広いサウンドメイクが可能なモ デルです。 (株)MUSICLAND KEY 福岡店 ☎092-716-0404	中古		MEDELI DD-506J ¥27,800(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02122141 307種類の高品位ドラムボイスに加え、叩く感度、ピッチのチュー ニングなど細かい調整が可能。 FACTION MUSIC ☎03-6425-7769
B級 特価		EDWARDS E-FR-120B ¥69,800(税込) 状態:A 楽器ID:DS01149016 大人気フォレスト・ベースにエドワーズ・バージョンが登場！ イケベ楽器店 グランディ&ジャングル ☎03-3464-2750	中古		KORG WAVEDRUM MINI YL ¥14,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02077876 電池駆動、スピーカー内蔵、クリップマイクによる独創的な演奏が 可能なWAVEDRUM mini がポップなカラーリングで新登場！ イシバシ楽器 新宿店 ☎03-3350-1484
中古		Fender Japan PJR-65 ¥(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02115718 スリムネックと小ぶりのボディで操作性に優れています。アクティブ コントロールシステム搭載。 第一楽器株式会社 八戸ノ里店 ☎06-6787-3775	B級 特価		GON BOPS GON-AACJSE ¥25,410(税込) 状態:A 楽器ID:DS02121159 アメリカの老舗パーカッション・メーカー、ゴン・ポップスより、カホン が登場！ イケベ楽器店 ドラムステーション渋谷 ☎03-5428-0069
B級 特価		Ibanez Ibanez Gio GSR-320 BMB ¥18,900(税込) 状態:A 楽器ID:DS02116311 ビギナーおすすめのハイクオリティーベースを展示品特価で！ Musicvox by Laox 新宿店 ☎03-6682-4680	中古		Meinl MARATHON BONGO ¥4,980(税込) 状態:A 楽器ID:DS02119046 マイネルの定番、マラソンシリーズのウッドボンゴ！ 入門やアウトド アにオススメ！ イシバシ楽器 池袋店 ☎03-3980-1484
新品 特価		Spector Legend 4X Classic Black Stain ¥52,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02121318 ロックなベーシストの方にお勧めです！ 昭和楽器 春日部店 ☎048-737-0723	B級 特価		KORG KROME 73 ¥94,080(税込) 状態:A 楽器ID:DS02114869 KORGから軽さ&クオリティを兼ね備えた待望のNEWモデルの登 場です。 三木楽器 心斎橋店 ☎06-6251-4593
新品 特価		Mapex PRODIGY PR2051CY ドラムセット ¥32,600(税込) 状態:S 楽器ID:DS02101125 ドラム工場が作るメイベックスブランドの激安ドラムセット登場！ 初心者にもオススメ！ (株)ワタナベ楽器店 京都デジタル&ドラム館 ☎075-256-0238	新品		YAMAHA MX61 ¥69,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02122879 エレキギター並みの軽量コンパクトボディを実現し、リハライブへ 気軽に持ち運ぶ即戦力コンササイザー。61鍵盤モデル。 マークスミュージック ☎06-6635-0267

中古		Casio MT-800 ¥10,500(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02116684 懐かしの“ラジカセ”感覚キーボード。 THE中古楽器屋 ☎03-5386-4562
中古		Roland Fantom-X6 ¥69,800(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02122774 音楽制作の能力が大幅に向上したワークステーション・シンセサイザ。 Echigoya Music 〜えちごやミュージック〜 ☎03-3464-0905
新品特価		KORG MICRO KORG ¥27,300(税込) 状態:A+ 楽器ID:DS02122736 シンセサイザーの醍醐味を満喫する、コンパクト・サイズのニュー・タイプ・シンセサイザー。 (株)JEUGIA 三条本店 ☎075-254-3700
新品		Novation MiniNova ¥39,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02123232 フラッグシップモデルのUltraNovaと同じサウンドエンジンを搭載した、37鍵シンセサイザー。 宮地楽器 神田店 ☎03-3255-2755
中古		CLAVIA Nord Lead 2X ¥79,800(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02122765 49鍵、20ボイス、4パートマルチティンバー、バーチャル・アナログ・シンセシス・キーボード。 Echigoya Music 〜えちごやミュージック〜 ☎03-3464-0905
新品		Roland JUNO-Di ¥ 69,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02116251 本格派のサウンドと優れた可搬性を両立。電池駆動も可能なモバイル・シンセサイザー。 梅田ナカイ楽器(株) 阪急三番街店 ☎06-6372-9266
中古		Technics SX-PV90 ¥19,800(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02110969 1984年頃のヴァンテージシンセ! イシバシ楽器 梅田店 ☎06-6486-1484
新品		Waldorf blofeld KEYBOARD ¥82,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02116722 デスクトップ・シンセサイザー『BLOFELD』に高品質な49鍵のキーボードを搭載、さらに新たにPCM音源を搭載。 イケベ楽器店 PowerDJ's池袋店 ☎03-5956-6588
中古		BOSS MD-2 ¥3,980(税込) 状態:S 楽器ID:DS02122516 BOTTOMコントロールとTONEコントロールにより太さとキレを活かした音作りが容易に出来ます! ロックイン新宿 C館[USED & OUTLET専門] ☎03-5363-7595
中古		MXR M-102 Dyna Comp ¥6,980(税込) 状態:A 楽器ID:DS02123276 コンプレッサーの定番モデル、MXR M-102 Dyna Compの入荷です。 ギターショップ・ブラグイン ☎093-512-4174
新品		ONE CONTROL Xenagama Tail Loop2 -3Loop with Tuner Out ¥15,792(税込) 状態:S 楽器ID:DS02123134 世界最小!電源供給機能搭載 3Loopトゥルーバイパススイッチャー! イシバシ楽器 渋谷店 ☎03-3770-1484
中古		ARIA DD-X10 ¥4,200(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02123155 80年代半ばに生産されていたデジタルディレイの上位モデルです。 Millimeters Music ☎042-739-6562
新品		Leqtique 9/9 ¥17,400(税込) 状態:S 楽器ID:DS02123121 クラシックハイゲインアンプの厚み、暖かさを備えたディストーションペダル。 MUSICLAND KEY 東京渋谷店 ☎03-3463-0606
中古		strymon Ola Chorus ¥25,800(税込) 状態:A 楽器ID:DS02123004 きらびやかでオーガニックなコーラス、爽やかな多層マルチ・コーラスを備える多彩なパフォーマンス。 FACTION MUSIC ☎03-6425-7769
新品		t.c. electronic NOVA SYSTEM ¥39,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02122916 t.c.の人気のフロアタイプマルチペダルが破格のスペシャルプライス!キャリングケース付き。 イケベ楽器店 アンプステーション ☎03-5459-6550
新品		YAMAHA THR10C ¥29,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02123270 THR10Cは、高級ブティックアンプや歴史的なヴァンテージアンプのサウンドを搭載したアンプです。 (株)きんこう楽器ロックストア ☎075-801-6399
中古		Fender USA '59 Bassman ギターアンプ ¥88,000(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02123054 '98年製ツイードベースマン。非常にシンプルな操作系と力強いサウンドはツイードベースマンならではの。 株式会社 楽器堂 オーパス本店 ☎088-824-1856
中古		VOX Pathfinder 10 ¥2,800(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02122661 ちっちゃくてもしっかりVOX! 箱・取説付きで本体使用感少なく美品です! サウンドロフト ☎0463-93-5484
新品		GALLIEN-KRUEGER MB 800 ¥66,000(税込) 状態:S 楽器ID:DS02122647 800Wハイパワーアンプヘッド! ギターブラネット アコースティック館・ベース館 ☎03-5577-9711
ヴァンテージ		Gibson 1961 GA-8T Discover Tremolo ¥ 98,000(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02120173 レアなGibsonヴァンテージアンプ! 極上のオーバードライブサウンドが楽しめます! ギターブラネット エレキ本館 ☎03-5282-3881
新品		GALLIEN-KRUEGER 210MBE / 8 ¥35,380(税込) 状態:S 楽器ID:DS02119458 ウルトラコンパクト、超軽量設計のGALLIEN-KRUEGER 210MBE / 8が入荷致しました! BASS CENTER ☎03-3363-9595
新品特価		Fender USA Pawn Shop Special Greta ¥16,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02118625 フェンダーらしからぬ遊び心に溢れた真っ赤なボディ。生産終了のため廃番特価です! ロックイン天王寺 ☎06-6770-2563

中古		Roland BR-900CD ¥26,000(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02118820 CDライティングまで可能な8トラックMTRです。 コンパクト・フラッシュ対応。 POPS-K ☎0834-31-0017	中古		Holton TR158 ¥62,800(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02118961 ホルンで有名なメーカー、Holtonのトロンボーンです。豊かな響きでよく広がる音がします。 ロッキン 浜松店 ☎053-533-5111
		Technics SH-MZ1200 ¥33,800(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02112226 4chDJミキサー。 (株)フジヤエービック ☎03-3386-5956			BESSON テナーバストロンボーン ソベリモデル ¥98,000(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02086475 珍しいベッソンのトロンボーンです。 バードサウンドトキーヨ ☎03-5937-1241
中古		Vestax VCI-380 ¥49,800(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02118667 DJ用パフォーマンスコントローラー。2ch MIXER機能装備。 株式会社 コメ兵 名古屋カメラ・楽器館 ☎052-220-5539	新品特価		YAMAHA YCL-250 ¥56,700(税込) 状態:S 楽器ID:DS02098084 音色や音質、響きなどのクオリティを損なうことなく、入門にも最適なパフォーマンスの高いモデルです。 ロッキン 豊田店 ☎0565-28-7676
中古		DENON DN-S1000 ¥18,000(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02109711 コンパクトながら、mp3のサポート、エフェクト、キューポイント、ループ機能など搭載したCDJ。 イシバシ楽器 立川店 ☎042-528-1484			H. Selmer 10S ¥84,000(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02065527 セルマーのB♭クラリネット 10S 中古です。 管楽器修理工房服部 ☎086-238-8911
直営部新		JUPITER PS547GL ソプラノサックス ¥98,000(税込) 状態:A+ 楽器ID:DS02111666 ジュピターの誇るスタンダードシリーズ。 あらゆるジャンル・奏法に応えます。 ミュージックランドKEY 高崎店 ☎027-388-8878	新品特価		Maxtone FL-25NE フルート ¥11,400(税込) 状態:S 楽器ID:DS02047238 エントリーブランドとして好評のマックスストーン製フルート。 chuya-online.com ☎093-531-3656
		Kaerntner KTN-65 テナーサックス ¥28,600(税込) 状態:S 楽器ID:DS01811434 サックスのエントリーモデル ケルトナー KTN65 テナーサックス。 chuya-online.com ☎093-531-3656			Pearl PF-525E ¥42,000(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02037490 学生や初心者の方にもおすすめのモデルです。 島村楽器 成田ボンベルタ店 ☎0476-28-0511
中古		YAMAHA YAS-34II ¥71,800(税込) 状態:A 楽器ID:DS02118951 ヤマハのYAS-475や現行のYAS-380と同等クラスのモデル、YAS-34II。 ロッキン 浜松店 ☎053-533-5111	新品		AKETA T-5C ¥10,500(税込) 状態:S 楽器ID:DS02106734 オカリーナらしい素朴な音からダイナミックな音色まで表現できるため、合奏はもちろん、特にソロでの演奏に適しています。 (株)山野楽器 サウンドクルー吉祥寺 ☎0422-20-3255
直営部新		Alfred Lupot SS241L ¥42,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02109417 憧れのソプラノサックスを魅力的な価格で。 (株)山野楽器 サウンドクルー吉祥寺 ☎0422-20-3255			SUZUKI アルトメロディオン M-37C ¥8,400(税込) 状態:S 楽器ID:DS02072991 ハイクニックを駆使して演奏する人のイメージを豊かに表現できるメロディオンです。 イシバシ楽器 立川店 ☎042-528-1484
		Bach TR600 ¥33,000(税込) 状態:A+ 楽器ID:DS02118458 1.3番スライド指掛けや非腐食性モネルメタルピストンヴァルブ採用など、上位機種並みの装備です。 (株)テイクオフ ☎06-6634-0889	新品特価		Roland RH-A30 ¥12,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02079792 ハイ・クオリティな良質オープンエア型ヘッドホン! あぼろん株式会社 新潟店 ☎025-229-4030
新品特価		YAMAHA YTR-1335S ¥47,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02098072 豊かな響きと吹奏感を両立させたYAMAHAのステューデントモデル。 ロッキン 豊田店 ☎0565-28-7676			Hohner BRAVO III96 37鍵 96ベース ¥105,000(税込) 状態:A 楽器ID:DS02101566 ストラップとギグバッグ付です。 おとぐら＜音蔵＞ ☎06-6641-8298
		XO RV-S ¥75,000(税込) 状態:B+ 楽器ID:DS02065574 程よい抵抗感で気持ちよく演奏することができるオスメの1本です! 管楽器修理工房服部 ☎086-238-8911	新品特価		audio-technica AE6100 ¥15,800(税込) 状態:S 楽器ID:DS02122519 ハウリングに対する無類の強さ、スピード感豊かでキレのよいボーカルサウンドを! ロッキン新宿 B館 ☎03-3354-5502
中古					

Q.サンレコがiPadで読めるってホント？



A.探しに行くならApple Newsstandへ!

発行
株式会社リットーミュージック
〒102-0075 東京都千代田区三番町20番地
www.rittor-music.co.jp

発行人: 古森優

編集: 松本大輔、市原幸子、鈴木日奈子

印刷/製本: 株式会社ナボ

表紙デザイン: 吉岡由佳 www.yyoshioka.com
表紙写真: 土屋綾子 (Random)
本文デザイン
吉岡由佳、明松聡

Random編集部
TEL: 03-5213-6262
FAX: 03-5213-6282
random@rittor-music.co.jp

●広告掲載に関するお問い合わせ
広告営業統轄部
TEL: 03-5275-9151
www.rittor-music.co.jp/ad/

Random
Vol.31

2013年9月13日発行

次号Randomは秋頃の発行予定です。

9/13発売

Guitar

magazine ギターマガジン

[10月号] 定価800円(税込)

ロック伝説とレス・ポール

ジミー・ペイジ、クラプトン、オールマン……
レス・ポールに魅入られたヒーローたち

●Featured Guitarists: クリーブハイブ ●The Instruments: ギブソン・カスタム&メンフィス完全読本 ●特集: 始めてみよう! ラグタイム・ギター ●インタビュー: ザ・ストライプス、パディ・ガイ、ジョン・ペトルーシ、KISS、PLASTIC ONO BAND ●ギタビギ! 「じょいふる」いきものがかり ●スコア: 「ベニーロイヤル・ティ」ニルヴァーナ、「風は西から」奥田民生

9/14発売

Sound & Recording

サウンド&レコーディングマガジン

[10月号] 定価980円(税込)

iPad用シンセ・アプリ

触れるままに音とイメージが反応する
iPad用シンセサイザー・アプリの快楽

●巻頭レポート: ビョーク「Bilphilia Tokyo」 ●特集: iPad用シンセサイザー・アプリの快楽 ●特別企画: コンブが上達する1週間トレーニング ●ミックス解剖学: ロビン・シック『ブラッド・ラインズ〜今夜はハイ・ハイ・ハイ!』 ●Classic Tracks: ザ・クラッシュ「ホワイト・ライオット」 ●特別対談: 中田ヤスカ×J.J.エイブラムス ●インタビュー: ナイン・インチ・ネイルズ、奥田民生、立花ハジメ、Hair Stylistics、ほか

9/19発売

BASS

MAGAZINE

[10月号] 定価900円(税込)

DEAD END Tribute

岡野ハジメ × “CRAZY” COOL-JOE ×
tetsuyaが語り尽くす対談が実現!

●FEATURED BASSISTS: ウィル・リー(+亀田誠治対談) ●THE BASS INSTRUMENTS: 10万円で買える個性派ベース ●奏法特集: 歌うスラップ・フレーズ ●インタビュー: 櫻井哲夫、アンディ・フレイザー、Crossfaith、人間椅子、他 ●THE AXES: ヴィクター・ウッテン ●スコア: ザ・ブレッカー・ブラザーズ「スリック・スタッフ」、THE YELLOW MONKEY「バラ色の日々」

9/13発売

Rhythm & Drums

リズム&ドラムマガジン

[10月号] 特別定価1,320円(税込)

シェーン・ガラス

怒涛のソロ・ドラミングを
付録CDに独占収録!

●アーティスト特集: ジョン・ロビンソン、Tatsuya Amano ★特集: 誌上ドラム・コンテスト「Find Your Way〜Groove or Technique〜」審査員デモ演奏 feat. 村石雅行&坂東慧〜さらにシェーン・ガラスによる特別デモ・トラックも収録!! ★特別企画: MATAROアラウンド・ザ・ワールド ●Interview: SATOKO、木村おうじ純士、YUKI ●LIVE GEAR: イアン・トーマス ●無人島スネア: 雷電湯澤

CD
付

RittorMusic

リットーミュージックの音楽雑誌

★は付録CD連動企画です。

※コンテンツは予告なく変更する場合もあるので予めご了承ください。

9/10発売

Keyboard

magazine キーボードマガジン

[AUTUMN 2013] 定価1,500円(税込)

TM NETWORK

最新ライブ&機材レポート!
小室哲哉が舞台裏を語る

★機材特集: KORG MS-20〜時を超え鳴り続けるアナログシンセサイザー ★ジャズ・ハノンLESSON10 ●アーティスト列伝: 有頂天 ●追悼特集: レイ・マンザレク(ドアーズ) ●ライブ・レポート: the HIATUS ●アーティストドリーム・シアター、東京スカパラダイスオーケストラ、他 ●堀江博久のアーティスト研究 Vol.8 カジヒデキ ●スコア: 「Horse Riding」the HIATUS(バンド譜)、「ひこうき雲」荒井由実(ピアノ譜)

CD
付

好評発売中

ACOUSTIC GUITAR

MAGAZINE Vol.57

[SUMMER 2013] 定価2,100円(税込)

高田漣

高田漣Works
〜辿り着いた“歌とギター”の世界

●アコギ入門者が楽器屋を巡る〜予算8万円の手に入れる! 一生使える1本 ★ソロ・ギターで弾くアイルランド伝統音楽 ●インタビュー: スティーヴ・フォーバート、ローレンス・ジュバーヌ住出勝則、ジム・クウェスキ、ジャグ・バンド鼎談(ジェフ&マリア・マルダー)、スザンヌ・ヴェガ、ロン・セクスミス、プリシラ・アーン、トクマルシューゴ ●スコア: 「生活の柄」高田漣/漣、「昭和ロマンス」岸部真明

CD
付

好評発売中

SAX & BRASS

magazine

[volume28] 定価1,575円(税込)

マイルス・デイビス

日野皓正、ウォレス・ルーニー、ほか25人の
トランペッターがマイルスの魅力を語る!

●サクソ・マウスピース大研究<ラバー編> ●SOIL&“PIMP”SESSIONS / グローバー・ワシントンJr. / サミー・ネスティコ / スカパラ ★スコア「SHAKE EVERYTHING YOU'VE GOT」JBZ ★ホーン・アレンジ講座(ビッグ・ホーンズビーの最新曲を収録) ★スタンダード・ジャズを吹きこなそう! 「煙が目にしみる」 ★小池修 / 替え指でフラジオ音域の表現力をアップ! ●自宅でする! 音を出さない練習方法

CD
付

9/28発売

GROOVE

[AUTUMN 2013] 定価880円(税込)

アナログの今

今なお注目を集めるレコードと
モバイル用DJシステムを大特集

●アナログの今: 人気DJたちが語るアナログの今〜DJ NORI / MURO / 小西康陽 / Calm / DJ KENSEI / DJ NOBU / マルセル・デッドマン / セオ・バリッシュなど / アナログにこだわるレーベル対談 / ロンドン&ベルリン&ニューヨークのアナログ事情 ●モバイルDJセットの薦め〜モバイルDJセットでできること、DJアプリ紹介、注目の製品レビュー、機能&操作性の比較リスト、他

この星の平和を守るのは、
バンドマンかもしれない



SAVE THE WORLD POWER PLAYERS

RittorMusic

